

# 【第 1 号議案】(報告事項)

## 平成 25 年度事業報告に関する件 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

### I. 事業の状況

一般社団法人への移行後の3年目として、金武直幸新会長のもと、当会のプレゼンス向上の種々取組を実施した。すなわち、活動基盤を従来の軽金属素材製造メーカーに加えて二次加工分野および材料ユーザーまで拡大し、軽金属の上流から下流までを網羅できる学会として社会に認められるよう体制整備を進めた。二次加工業界の多くを占める中堅企業との情報交換(無料講演会・相談会)を開始し、中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業 R&D 支援プログラム」の準備を行った。当会紹介パンフレット更新、WEB 相談室開設を行い、会員サービス向上による会員基盤増強を計画した。また、春秋講演大会においても、ユーザー企業参加促進策として企業交流会を計画した。学会誌「軽金属」の内容に関するアンケートを実施し、論文・解説以外の記事充実を図り、会員、ユーザー企業に学会活動状況、会員企業紹介など情報発信を行った。また、現在 9 つの研究部会が 4 年間の活動を実施しており、その活動概要を会誌、WEB 上に掲載し、当学会の研究活動を紹介した。

なお、平成 26 年 3 月末に完了予定であった公益目的支出計画(3ヶ年計画)は研究事業、出版事業が毎年計画を下回ったため、1 年間延長する変更申請を行い認可された。

### [1]研究会、学術講演会等の開催(定款第 4 条第 1 項第 1 号)

#### 1. 春秋講演大会の開催

##### 1) 第124回春期大会

会期 : 平成25年5月18日(土)、19日(日)  
会場 : 富山大学五福キャンパス  
実行委員長 : 松田健二(富山大学)  
定時総会 : 平成25年5月18日(土)  
研究発表講演 : 平成25年5月18日(土)、19日(日) 165件発表  
ポスターセッション : 平成25年5月18日(土) 46件発表  
表彰式 : 平成25年5月18日(土)  
懇親会 : 平成25年5月18日(土)(ホテルグランテラス富山)  
見学会 : 平成25年5月17日(金) 三協立山(株)三協アルミ社射水工場他 28名参加  
機器・カタログ展示 : 平成25年5月18日(土)、19日(日)

##### 2) 第125回秋期大会

会期 : 平成25年11月9日(土)、10日(日)  
会場 : 横浜国立大学常盤台キャンパス  
実行委員長 : 福富洋志(横浜国立大学)  
研究発表講演 : 平成25年11月9日(土)、10日(日) 128件発表  
ポスターセッション : 平成25年11月9日(土) 42件発表  
表彰式 : 平成25年11月9日(土)  
懇親会 : 平成25年11月9日(土)(横浜国立大学)  
機器・カタログ展示 : 平成25年11月9日(土)、10日(日)  
企業紹介セッション : 平成25年11月9日(土)、10日(日)

#### 2. シンポジウム、セミナー等の開催

|   | 名 称  | 開催日                 | 開催場所             | 参加者数 |
|---|--|---------------------|------------------|------|
| 1 | 第 91 回シンポジウム「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド」～究極のマルチマテリアル車体を目指して～ | 平成 25 年 6 月 7 日     | 日本大学<br>駿河台キャンパス | 76 名 |
| 2 | 軽金属基礎技術講座<br>「アルミニウムの製造技術」                                       | 平成 25 年 9 月 5 日、6 日 | ヤマハリゾート<br>つま恋   | 50 名 |
| 3 | アルミニウムの材料(板、押出)の加工技術講習会  | 平成 25 年 10 月 17 日   | 茨城県工業技術センター      | 50 名 |

### [2]国内外における研究協力・連携の推進(定款第 4 条第 1 項第 2 号)

#### 1. 国際交流

##### 1) ALMA (Asian Light Metals Association)

平成 26 年 11 月 14 日(金)(第 127 回秋期講演大会の前日)に、公益財団法人 小山台教育財団「小山台会館」にて開催

する準備を行った。

(1) ALMA のホームページ充実

平成 24 年 10 月に開設したホームページに ALMA 組織、各国リンク先、関連する国際学会開催予定を掲載し、内容充実を図った。

2) ACAA(Asian Conference on Aluminum Alloys)への対応について

中国で開催された ACAA-2013 に ACAA 実行委員会(中国)からの協力要請に対応して、当会から 13 名が参加し、熊井真次副会長(東京工業大学教授)の基調講演を含め 11 件の講演を行った。

2. 産学官の連携

経済産業省非鉄金属課長及川 洋様に第125回秋期講演大会懇親会にご臨席、ご挨拶賜り、当学会役員との意見交換を行った。また、参与会を2回開催し、一般財団法人日本自動車研究所(JARI)城里テストセンターのHy-SEF(水素・燃料電池自動車安全評価試験設備)、パナソニックエコテクノロジー関東㈱(PETECK)の家電リサイクル工場、ネオジム磁石回収工程の見学を通じて、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、ユーザー側からの助言を得た。

3. 日本アルミニウム協会との連携

日本アルミニウム協会の主催により開催された産学懇談会に出席し、情報交換を行った。日本アルミニウム協会の研究助成事業の約 30 件の研究の大部分を講演大会で成果発表していただいた。今後の新規アルミニウム需要拡大が期待される研究 3 件については会誌へ解説として公開した。

4. 他学術団体、業界団体との連携

日本学術会議材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。また、関連 6 団体(日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、軽金属溶接協会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会)にユーザー企業の学会参画を目的とした連携強化の要請を行い、個別に連携活動の相談を行うこととした。

[3]学会誌、学術図書等の刊行(定款第 4 条第 1 項第 3 号)

1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、Vol. 63 No. 4~12、Vol. 64 No. 1~3 までの 12 冊を、うち、Vol. 63No. 11 は特集号「材料組織における不均質性の制御と高機能軽金属材料の創製」として刊行した。掲載内容の分類は以下のとおりである。また、共同刊行英文誌 Materials Transactions の Vol. 54、No. 9 に「Advanced Materials Science in Bulk Nanostructured Metals II (バルクナノメタルに潜む新たな材料科学 II)」特集号を共同刊行した。

| 区 分     | 編数 | 区 分       | 編数 | 区 分    | 編数  |
|---------|----|-----------|----|--------|-----|
| 巻頭言     | 3  | 連載講座      | 8  | 支部編集特集 | 0   |
| 研究論文    | 31 | 新製品・新技術紹介 | 0  | はぐくむ   | 3   |
| 研究ノート   | 1  | 随想        | 12 | 研究部会紹介 | 5   |
| 解説      | 18 | LMコラム     | 6  | 学会便り   | 9   |
| LMLレビュー | 3  | 研究室／研究所紹介 | 2  | 支部便り   | 9   |
| 技術報告    | 0  | 国際会議便り    | 6  | 掲載総数   | 116 |

2. 研究部会報告書の発行

| NO. | 名 称                  | 発行日               |
|-----|----------------------|-------------------|
| 59  | アルミニウム板の圧延トライボロジーの研究 | 平成 25 年 12 月 16 日 |

3. その他刊行物

| 名 称  | 発行日              |
|--|------------------|
| 第 124 回春期大会講演概要集   | 平成 25 年 4 月 18 日 |
| 第 91 回シンポジウム「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド」～究極のマルチマテリアル車体を目指して～ | 平成 25 年 6 月 7 日  |
| 第 125 回秋期大会講演概要集   | 平成 25 年 10 月 9 日 |

[4]研究及び調査の実施(定款第 4 条第 1 項第 4 号)

研究部会に関しては、前年度より継続の 8 つの部会に加えて、新たに 1 つの部会と部会内に 1 つの WG が発足し、活発な研究事業を実施した。また会誌や WEB 上に研究部会活動紹介を掲載し、部会活動の見える化を図った。平成 26 年度末終了予定の研究部会が多く、春秋講演大会でのテーマセッションやシンポジウムの実施計画を策定し、研究部会報告書発行も含めた成果報告の準備を行った。さらに、次の研究部会立上げを目指し、プロセス関係(鋳造、圧延、押出)と利用技術関係(トライボロジー、接合、腐食、表面処理)、材料関係(マグネシウム、チタン、新素材・複合材料)の研究課題抽出 WG を立上げ、研究活動の活性化を継続する予定である。

また、日本学術会議材料工学委員会と材料戦略委員会からの材料工学分野の科学・夢ロードマップの領域ロードマップ作成

要請に対応し、材料解析・診断学領域とクリーンエネルギー材料学領域の2つの領域に対して2040年までの軽金属材料・技術に関するロードマップ作成を行った。

|   | 部 会 名   | 課 題   | 研究成果概要  |
|---|---|---|---|
| 1 | 高機能押出加工技術研究部会<br>【開催期間】<br>22年9月～<br>26年3月末<br>(1年延長) | 押出型材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成を行なう。     | 4回(6月14日、9月18日、12月17日、3月7日)の研究部会を開催。<br>7000系合金の押出シミュレーションと生産技術データベースとの融合を図るとともに、押出材表面の形成メカニズムを明らかにした。<br>1)7000系合金の押出シミュレーション<br>・第9回(6月14日)、第11回研究部会(12月17日)にて、7000系合金押出における実現象再現のため、モデルを作成し、工具へのコーティングの影響と表面性状予測を検討した。<br>2)押出材表面の形成に関する研究<br>・第9回、第10回(9月18日)、第11回研究部会にて、6061押出材の表面性状及びピックアップに及ぼすピレット温度とダイスコーティング(TiN、TiAlN)の影響について調査した。<br>3)7000系合金によるZn脆性に関する研究<br>・第9回、第10回、第11回研究会にて、7000系合金押出におけるダイスの亜鉛脆化の対策を目的とし、アルミ合金中の亜鉛が及ぼす影響について調査した。<br>4)超硬合金及びダイスコーティングに関する基礎知識の習得を目的として、勉強会(12月17日)を開催した。<br>5)会誌1月号に部会活動報告掲載<br>6)26年9月に活動終了期限を迎えるが、部会の取りまとめを行うために1年の延長申請を予定している。 |
| 2 | アルミニウム圧延における生産性研究部会<br>【開催期間】<br>23年7月～<br>27年3月末     | アルミニウム板圧延の、特に生産性の向上について、意見交換・検討を行いながら、技術レベルの向上を図る。          | 4回(5月24日、7月19日、11月22日、2月21日)の研究部会を開催。各社工場で部会を開催し、見学を通じ、委員間で生産性向上事例集と現場・現物とを直に観察した。事例は、熱延と冷延の場合の生産性と稼働率について30事例程度集まり、内容を分類し、事例集のまとめ方を検討した。<br>1)第9回 昭和電工(株) 堺事業所<br>2)第10回<br>上期は熱延事例収集。<br>3)第11回 (株)UACJ 福井工場<br>4)第12回 日本軽金属(株) 名古屋工場<br>下期は冷延事例収集。圧延機の構成や機械的(物理的)な向上技術と圧延そのものの速度を上げるための圧延技術的な部分に大分された。   |
| 3 | 新機能発現・化学プロセス部会<br>【開催期間】<br>23年6月～<br>27年3月末          | 化学反応に関わるプロセスを取りあげ議論する。表面処理、腐食、精錬、リサイクル等の30年後を見据えた情報交換の場とする。 | 6回(4月24日、5月18日、8月2日、11月9日、11月22日、2月14日)の研究部会を開催。<br>部会内に編成したWGを核として下記取組を実施した。<br>①イオン液体等を用いたアルミニウムの製錬、精錬、箔製造、クラッド材等に関する技術調査の継続。<br>②サンプル評価による具体的なデータ採取。京都大学への委託研究。<br>③当技術の将来展開可能性等の整理(大型プロジェクト提案含む)。<br>1)第8回<br>・アルミニウムの腐食(境 昌宏・室蘭工業大学)<br>・部会内WG活動計画作成(技術調査WG、特許調査WG、試験評価WG)<br>2)第9回<br>・軽金属学会春期大会にて、各WG進捗確認<br>3)第10回<br>・自己修復性防食コーティング(矢吹彰広・広島大学)<br>・部会内WG活動報告<br>4)第11回<br>・軽金属学会秋期大会にて、部会内WG活動報告<br>5)第12回<br>・自己修復性防食コーティング(矢吹彰広・広島大学)<br>・製錬工場の見学<br>・京都大学に非水溶媒から電析したアルミニウムめっき膜の性質調査研究委託<br>6)第13回<br>・部会内WG活動報告<br>7)会誌3月号に部会活動報告を掲載                                      |

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 4 | <p>成形性評価シミュレーション技術開発部会</p> <p>【開催期間】<br/>23年6月～<br/>27年3月末</p>  | <p>アルミニウム合金の成形性評価に必要な基礎データの整備と充実を図る。</p>  | <p>4回(5月10日、8月30日、12月13日、3月28日)の研究部会を開催。不均質性を考慮した有限要素解析の適用による解析精度の向上(局所変形、割れ機構など)を目的に、評価技術の確立と解析への適用を検討した。実機プレスによる実部材トライの検討も行った。</p> <p>1)第7回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・液圧バルジ試験における変形量におよぼすしわ押さえ力の影響調査報告</li> <li>・二軸応力下における5000系アルミニウム合金板の変形特性</li> <li>・液圧バルジ試験等CAE解析結果報告</li> <li>・不均質有限要素解析による5182合金材の試験計画報告</li> <li>・フェーズフィールド法を用いた金属材料のマルチスケール材質予測法について</li> <li>・結晶組成解析技術の適用検討</li> <li>・二軸バルジ試験の設備見学とデモンストレーション</li> </ul> <p>2)第8回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルジ試験時のひずみ経路についての詳細調査報告</li> <li>・シミュレーションの精度向上のための新規検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>①二軸バルジ試験の適用(課題:円筒サンプルの製作⇒溶接技術)</li> <li>②不均質有限要素法の適用(共通サンプルによる調査開始)</li> </ul> </li> </ul> <p>3)第9回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二軸バルジ試験継続調査報告</li> <li>・不均一性を考慮した有限要素解析継続調査</li> <li>・シミュレーション精度向上技術・スプリングバック検討(V曲げ等)</li> <li>・実機プレス機への適用検討:基礎評価金型(張出・絞り等)による評価⇒各社の保有金型確認⇒評価金型選定 ※φ100mm 球頭張出試験</li> <li>・実部品相当のプレス成形(金型製作(CAD データ含)、プレストライ⇒シミュレート)</li> </ul> <p>4)第10回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二軸バルジ試験継続調査</li> <li>・不均一性を考慮した有限要素解析継続調査</li> <li>・フェーズフィールド法適用技術検討</li> <li>・実成形試験結果報告⇒液圧バルジ試験との相関とシミュレーションへの展開検討</li> </ul> <p>5)成果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第125回秋期大会にて、「異方硬化を示す5000系アルミニウム合金板の材料モデリングと液圧バルジ成形シミュレーション」を報告</li> <li>・会誌11月号に部会活動報告を掲載</li> </ul> |
| 5 | <p>アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会</p> <p>【開催期間】<br/>23年6月～<br/>27年3月末</p> | <p>アルミニウムの材料特性は合金成分と製造条件に左右される。昨今、材料組織形成シミュレーションを用いた特性予測が進展しており、材料データプラットフォームの構築で、わが国独自の組織形成予測技術を実現させる。</p> | <p>4回(7月2日、10月24日、1月22日、3月11日)の研究部会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4材種(3N、1050、8021、Al-5Mg)の応力-ひずみ曲線を用いて組織予測解析モデルにおける結晶塑性パラメータの同定を行った。</li> <li>・1050 および 8021 について同定したパラメータを用いて、冷間圧延の有限要素法シミュレーションを行い、集合組織解析を行った。</li> <li>・上記2材種(1050、8021)の冷間圧延実験を行い、材料内面のひずみ分布を実験的に得た。さらにパススケジュールの影響についても検討された。</li> <li>・初期結晶方位分布からのRVE作成の考え方について議論した。</li> <li>・会誌2月号に部会活動報告を掲載</li> </ul>   |
| 6 | <p>アルミニウム中の水素研究部会</p> <p>【開催期間】<br/>23年6月～<br/>27年3月末</p>       | <p>アルミニウム合金材料の機械的特性や表面品質に影響を及ぼす水素ガスの分析方法の高精度化と、機械的性質等に及ぼす水素ガス量の影響調査を行う。</p>                                 | <p>4回(6月28日、9月5日、2月4日、2月26日)の研究部会を開催。水素ガス測定法の信頼性向上を検討した。これまでのLECO測定ラウンドロビンテストおよび前処理方法の検討についてまとめを作成した。日本アルミニウム協会規格(LIS)改定を行い、推奨前処理は原則「旋盤加工+溶剤洗浄」とし、その他の処理が適切な場合については、個別に記載することとした。LECORH402 以外についても暫定標準試料でキャリブレーションすることで測定値が近づくかの確認実験を実施し、結果のまとめを作成中。ガス状水素マイクロポアが機械的特性に及ぼす影響を評価するとともに、製造プロセス条件のマイクロポアの生成・分布に及ぼす影響を調査する目的で「力学特性WG」を立ち上げた。</p> <p>1)第8回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5056 について各種前処理で実施したラウンドロビンテストについて議論。NaOH エッチングでは測定値が高く、バラツキが大きくなる。前処理法は原則として旋盤加工+溶剤洗浄を推奨とするが、旋盤加工が困難な試料でのヤスリがけや、高純度 Al の苛性処理についてもケースごとに規格に記載することとなった。</li> </ul>   |

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
|   |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・LECO 社の講演開催。ガスドーズで校正しているのは検出器のみ。RHEN602 では、鉄鋼の標準資料で作成した検量線を使用している。</li> <li>2)第 9 回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・LECO 条件に関しては同一試料(暫定標準試料)を使用してキャリブレーションすることで各社の測定値が近づいた。ただし、標準試料が存在しないため標準値をつけてキャリブレーションすることはできない。</li> <li>・LECORH402 以外についても暫定標準試料でキャリブレーションすることで測定値が近づくかの確認を行い、参考データとして解説等に記載する。</li> </ul> </li> <li>3)力学特性 WG 第 1 回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水素ガスの存在による力学特性を調査するため、力学特性ワーキンググループを発足した。九州大学戸田先生をリーダーとしてメンバー募集を行い、キックオフミーティングを開催した。</li> <li>・WG は①軽金属中の水素の基礎的研究, ②水素脆性, ③析出水素ポアとその影響, ④応力腐食割れに関して、参加委員がそれぞれ興味のある内容を自主的に推進することを基本としてスタートを切ることとした。</li> </ul> </li> <li>4)第 10 回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究部会報告書作成の準備を行った。</li> <li>・第 127 回秋期大会水素分析関係テーマセッションの開催の準備を行った。</li> <li>・会誌 11 月号の特集号への投稿準備を行った。</li> </ul> </li> <li>5)会誌 12 月号に部会活動報告を掲載</li> </ul>   |
| 7 | <p>アルミニウム溶解炉における複合酸化物の異常生成研究部会</p> <p>【開催期間】<br/>23年12月～<br/>27年3月末</p> | <p>アルミニウム溶解炉・保持炉に異常生成する複合酸化物(通称オバケ)を実機炉から採取・分析調査し、その生成機構解明を図るとともに、抑制に有効な知見を得る。</p> | <p>5回(4月23日、7月8日、9月24日、12月20日、3月11日)の研究部会を開催。<br/>オバケサンプルの分析を完了し、オバケの実体を把握した。調査文献の情報整理と合わせて、オバケ生成機構に関するラボ検証試験を実施した。</p> <p>1)オバケ分析結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Al-Mg 系(ジルコン耐火物)で生成するオバケは Mg の多い部分と少ない部分がある。多い部分はスピネルになっていると思われる。耐火物側では Mg 量が多く、Fe 量は少ない。耐火物に近い位置では、年輪のような成長の跡が見られる。</li> <li>・Al-Mn 系(ジルコン耐火物)では、Zr が還元されて金属間化合物(ZrAl<sub>3</sub>)となり、界面に Mg や C が集まっている。溶湯の種類が雑多であるためか、Ti が多く検出される。</li> <li>・オバケはバーナー直下の高温のメタルラインで発生することが考えられるが、明確な生成メカニズムは推定できなかった。</li> </ul> <p>2)文献調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Al-5%Mg 合金、850～900℃、アルミナ系耐火物において、コランダム毛細管網に存在する溶湯が吸い上げられ、表面に出てきた溶湯が酸化成長する。</li> <li>・3104 合金、800℃、1200℃、アルミナ系耐火物において、メタルラインでは、層状コランダムが形成され、毛細管現象で溶湯が供給され、酸化してコランダムが成長する。内部では耐火物への溶湯の浸透が起こり、耐火物ポア中の空気との反応により酸化される。</li> <li>・Al-Mg 合金、830℃、アルミナ系、スピネル系、ジルコン系耐火物において、耐火物への溶湯浸透が起こり、耐火物表面での酸化によるγアルミナの生成を経て、αアルミナに変態し、体積収縮による亀裂が発生する。溶湯が表面にでる駆動力となってコランダム成長する。これが繰り返される。</li> </ul> <p>3)ラボ実証試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Al-5%Mg 合金を用いて作製した Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-SiO<sub>2</sub> 系つぼ(wet 剤なし)により、大気中で以下の溶解温度、保持時間の条件でオバケ発生再現実験を行った。なお、記載条件中の「→」は「炉冷後再加熱」を意味する。</li> <li>①1150℃、6h、12h、1day、4day 保持では、つぼ内部には Al は残っていないかった。</li> <li>②950℃、1day、7day 保持では、表面酸化物はあるが、耐火物との反応はみられなかった。</li> <li>③1150℃、6h 保持→750℃、6h 保持→1150℃、6h 保持、④1150℃、6h 保持→1150℃、6h 保持→1150℃、6h 保持→1150℃、6h 保持、⑤750℃、6h 保持→1150℃、6h 保持では、上部にできた反応生成物が固く除去できなかった。実機炉サンプルに見られた年輪状の模様は観察されなかった。</li> <li>⑥750℃、6h 保持→750℃、6h 保持→750℃、6h 保持では、反応生成物の変化はなく、耐火物との反応もみられなかった。耐火物と反応しない</li> </ul> |

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
|   |  |  | と異常酸化物は生成しないことが考えられる。<br>・得られた結果を光学顕微鏡、SEM、EPMA、X線回折等で解析する。さらに他の条件でも追加試験も実施中である。   |
| 8 | 加工と熱処理による優先方位制御研究部会<br><br>【開催期間】<br>24年4月～<br>28年3月末    | 加工と熱処理による新しい集合組織制御技術の構築を目指して、実現可能な優先方位の組合せによる大幅な特性改善の可能性を見出すこと。                        | 4回(6月24日、10月7-8日、11月25日、3月17日)の研究部会を開催。下記の5つのテーマについて、グループに分かれ検討した。<br>①優先方位評価の厳密化<br>②特性改善に有効な優先方位<br>③冷間および熱間加工による集合組織変化<br>④再結晶集合組織に及ぼす加工・熱処理条件の影響<br>⑤新プロセスによる集合組織形成と材料特性<br>1)第5回<br>・③④⑤テーマについて、各自の具体的な研究テーマを提案し、グループごとに今後の進め方を議論した。<br>2)第6回<br>・伊勢市観光文化会館で日本金属学会分科会「結晶と組織の配向制御による材料高性能化研究会」と共催で公開講演会を開催した。講演数:18件、参加者:35名。<br>3)第7回<br>・①テーマの共通試料のA1050-H材とA1050-O材についてTEMおよびEBSDによる結晶方位測定結果が報告された。<br>・④⑤テーマについてグループリーダーによる話題提供が行われた。<br>4)第8回<br>・①テーマのEBSD、X線回折、中性子回折による上記共通試料の集合組織測定結果が報告された。<br>・③テーマについてグループリーダーによる話題提供が行われた。<br>・③、④、⑤テーマについて各研究機関の研究内容の説明が行われた。<br>5)成果報告<br>・平成25年8月28日に茨城県中性子利用促進研究会と共催で「金属材料の集合組織評価分科会」を開催した。テーマ:J-PARCパルス中性子による集合組織測定技術開発の現状。本部会活動計画について講演。 |
| 9 | ミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会<br><br>【開催期間】<br>25年4月～<br>28年3月末 | ミュオンスピン緩和の研究手法を応用することにより、6000系アルミ合金中の原子空孔およびMg-Si-Vクラスターの密度とその挙動、およびAl合金中での水素の挙動を解明する。 | 3回(10月3日、12月10日、2月4日)の研究部会を開催した。本法に関する理解を深めるとともに、6000系Al合金に対する原子空孔研究に関する現状認識を行った。<br>1)1回<br>・部会の概要紹介 .....松田健二部会長<br>・ミュオンの原理・施設について...理化学研究所 松崎禎市郎<br>・企業からの話題提供...(株)UACJ、YKK AP(株)<br>2)2回<br>・Al合金のクラスター・陽電子消滅...東京工業大学 里達雄<br>・6000系合金への適用例.....富山大学 西村克彦<br>・企業からの話題提供...(株)UACJ、アイシン軽金属(株)<br>3)3回<br>・6000系・7000系合金のクラスター...横浜国立大学 廣澤渉一<br>・クラスター計算について.....富山大学 布村紀男<br>・企業からの話題提供...(株)神戸製鋼所、三協立山(株)三協マテリアル社  |

**[5]研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第4条第1項第5号)**

1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、表彰は、(1)および(7)1を平成25年5月開催の第124回春期大会にて、(2)～(5)および(7)2を平成25年11月開催の第125回秋期大会表彰式にて行なった。(6)については、平成26年2月末に表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など表彰に相応しい時機に表彰を託した。

(1)平成25年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞表彰

前年度の軽金属学会賞・功労賞・功績賞選考委員会で選考され、理事会で承認された下記5名を表彰した。

- |                |                        |         |
|----------------|------------------------|---------|
| 1)第16回軽金属学会賞   | 北陸職業能力開発大学校校長、富山大学名誉教授 | 池野 進 君  |
| 2)第15回軽金属学会功労賞 | アイシン軽金属株式会社 専務取締役      | 村上 哲 君  |
| 3)第11回軽金属功績賞   | 富山大学 教授                | 柴柳 敏哉 君 |
|                | 宇都宮大学 教授               | 高山 善匡 君 |
|                | 兵庫県立大学 教授              | 山本 厚之 君 |

(2)平成 25 年度軽金属論文賞・論文新人賞

高山善匡推薦委員長のもとで論文賞対象論文 48 編の内 11 編、新人賞対象論文 11 編の内 5 編の論文を推薦し、吉田英雄選考委員長のもとで 2 編(11 名)の論文賞、2 編(2 名)の新人賞を選考した。

1)論文賞

- ①「湿潤空気における Al-Zn-Mg-Cu 合金の水素脆化挙動の調質による変化」(第 63 巻 2 号(2013) P. 57-64 掲載)  
山口大学 大崎 修平 君、春山 繁之 君、古賀 毅 君、上西 研 君
- ②「アルミニウム合金のせん断帯における 3D/4D 破壊力学的評価」(第 63 巻 5 号(2013) P. 188-195 掲載)  
豊橋技術科学大学 清水 一行 君(現在 東北大学)、坂口 祐二 君、酒井 一憲 君、  
戸田 裕之 君(現在 九州大学)、小林 正和 君  
公益財団法人 高輝度光科学研究センター 上杉 健太郎 君、竹内 晃久 君

2)論文新人賞

- ①「アルミニウム合金のせん断帯における 3D/4D 破壊力学的評価」(第 63 巻 5 号(2013) P. 188-195 掲載)  
豊橋技術科学大学 清水 一行 君(現在 東北大学)
- ②「Al-Mg-Si 系合金の腐食に及ぼす塩化物水溶液中のカチオン種の影響」(第 63 巻 5 号(2013) P. 175-181 掲載)  
株式会社 UACJ 藤村 涼子 君

(3)第 48 回小山田記念賞

熊井真次委員長のもと、応募技術 3 件について検討の結果、当該技術 1 件が選考された。

「小型・軽量アルミ熱交換器用低 Si ろう犠材チューブの開発」

株式会社デンソー 杉浦 慎也 君、手島 聖英 君、根倉 健二 君、  
大河内 隆樹 君、長谷川 恵津夫 君  
株式会社 UACJ 渥美 哲郎 君、田中 宏和 君、久富 裕二 君

(4)第 36 回高橋記念賞

高橋英徳委員長のもと、各支部からの推薦 4 件について選考委員による書面審査の結果、4 名を選考した。

九州三井アルミニウム工業株式会社 作本 邦博 君  
株式会社アーレスティ栃木 鈴木 伯忠 君  
三協立山株式会社三協マテリアル社 武田 浩昭 君  
株式会社神戸製鋼所 松橋 則夫 君

(5)軽金属奨励賞・躍進賞・女性未来賞

伊藤吾朗委員長のもと、3 つの賞について審議し、奨励賞は応募 5 名の候補者のうち 3 名を、躍進賞は 4 名の候補者のうち 3 名を、女性未来賞は 1 名の候補者のうち当該 1 名を選考した。

- 1)第 31 回軽金属奨励賞 大阪府立大学 上杉 徳照 君  
名古屋大学 久米 裕二 君  
株式会社 UACJ 竹田 博貴 君
- 2)第 12 回軽金属躍進賞 早稲田大学 鈴木 進補 君  
株式会社神戸製鋼所 吉原 伸二 君  
大阪市立工業研究所 渡辺 博行 君
- 3)第 5 回軽金属女性未来賞 株式会社 TYK 大島 智子 君

(6)平成 25 年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦 30 名について、総務委員会による二次選考の結果、30 名を選考した。

| 所属          | 氏名       | 所属          | 氏名       |
|-------------|----------|-------------|----------|
| 旭川工業高等専門学校  | 平賀 拓也 君  | 日本大学大学院     | 菅谷 樹 君   |
| 東北大学大学院     | 佐渡 翔太 君  | 工学院大学大学院    | 小林 涉 君   |
| 日本大学大学院     | 渡辺 涼太郎 君 | 長岡技術科学大学    | 中田 大貴 君  |
| 東京大学大学院     | 田中 紀明 君  | 富山大学大学院     | 小川 友里恵 君 |
| 東京工業大学大学院   | 金 聖寧 君   | 名古屋大学大学院    | 永田 章 君   |
| 東京工業大学大学院   | 谷 知記 君   | 豊橋技術科学大学大学院 | 星野 弘樹 君  |
| 東京工業大学大学院   | 筒井 あかり 君 | 名古屋大学大学院    | 内田 圭 君   |
| 長岡技術科学大学大学院 | 山村 勇貴 君  | 京都大学大学院     | 林 誠 君    |
| 茨城大学大学院     | 小山 僚人 君  | 兵庫県立大学大学院   | 梶浦 拓也 君  |
| 群馬大学大学院     | 金井 俊典 君  | 関西大学大学院     | 大島 裕史 君  |
| 宇都宮大学大学院    | 細川 光 君   | 大阪府立大学大学院   | 小野 聡 君   |
| 横浜国立大学大学院   | 北中 健太 君  | 神戸大学大学院     | 西岡 正行 君  |
| 東京工業大学大学院   | 三原 麻未 君  | 鳴門教育大学      | 藤田 政宏 君  |
| 早稲田大学大学院    | 林田 達郎 君  | 九州大学大学院     | 徳永 尚史 君  |
| 群馬大学大学院     | 齋藤 公佑 君  | 熊本大学大学院     | 良井 優太 君  |

(7)優秀ポスター発表賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈る賞で、今年度は以下の通り春期 8 名、秋期 7 名を表彰した。

1)第 124 回春期大会

- ①スピノーダル分解を利用した超微細粒・時効硬化型 Al-Mg および Al-Ag 合金の強化機構の並立  
横浜国立大学大学院 後藤 航 君
- ②引張変形した Al-9%Mg 合金の粒界からの水素放出  
茨城大学大学院 小山 僚人 君
- ③摩擦ロール表面処理後温度勾配焼なましされた 1050 アルミニウム板材表面層の集合組織解析  
宇都宮大学大学院 荒川 卓弥 君
- ④ECAP 加工を施した AC4CH 合金鑄造材における共晶 Si 粒子の分布状態の評価  
山梨大学大学院 猿渡 直洋 君
- ⑤Mg-RE-Zn-Ca-Zr 合金の組織および機械的性質に及ぼす押出し温度の影響  
長岡技科大学大学院 山村 勇貴 君
- ⑥不燃・高強度マグネシウム合金の組織と機械的特性  
熊本大学大学院 伊東 剛史 君
- ⑦不燃・高強度マグネシウム合金の耐食性  
熊本大学大学院 三嶋 亮洋 君
- ⑧材料強度評価方法開発のための工業用金属材料の二次元切削  
芝浦工業大学大学院 小林 遼 君

2)第 125 回秋期大会

- ①粉末冶金法によるアルミニウム基アップグレードリサイクル複合材料の特性  
日本大学大学院 渡辺 涼太郎 君
- ②インプロセス組織構造制御を適用した純チタン粉末押出材における特異力学挙動の解明  
大阪大学大学院 三本 嵩哲 君
- ③微細結晶粒 Al-Mg 固溶体における荷重急変後の押込みクリープ挙動  
日本大学大学院 山梨 直紀 君
- ④温間高速圧延による 5052 合金板の結晶粒微細化  
大阪大学大学院 風岡 徹 君
- ⑤シンクロ LPSO 相を含むマグネシウム合金の引張変形時の水素挙動  
茨城大学大学院 國井 健生 君
- ⑥473K 時効した Al-Mg-Ge 合金における時効析出組織の TEM 観察  
富山大学 河合 晃弘 君
- ⑦Mg-Ca 合金の生体内分解性および力学特性に及ぼすカルシウム濃度の影響  
神戸大学大学院 田熊 明仁 君

(8)平成 26 年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞

金武直幸選考委員長のもと、3 つの賞について審議の結果、学会賞は 3 名の候補者のうち 1 名を、功労賞は 3 名の候補者のうち 2 名を、功績賞は 3 名の候補者について当該 3 名をそれぞれ下記のとおり選考した。表彰は平成 26 年 5 月開催の第 126 回春期大会にて行われる。

- 1)第 17 回軽金属学会賞 東北大学金属材料研究所 教授・所長 新家 光雄 君
- 2)第 16 回軽金属学会特別功労賞 元軽金属学会 事務局長 大園 智哉 君
- 功労賞 株式会社コイワイ 技術顧問 安達 充 君
- 3)第 12 回軽金属功績賞 宇宙航空研究開発機構 教授 佐藤 英一 君
- 東北大学 教授 成島 尚之 君
- 富山大学 教授 松田 健二 君

[6]その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第 4 条 1 項第 6 号)

1. 人材育成

各支部において、講演会・ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施した。

2. 若手の会、女性会員の会

(1)若手の会

第24回会合：第124回春期大会第2日目(5月19日)に実施。参加者27名。話題提供と質疑応答。

第4回若手育成のための合同会合：第124回春期大会前日に実施。参加者12名。

第25回会合：第125回秋期大会第2日目(11月10日)に実施。参加者36名。話題提供と質疑応答。

第5回若手育成のための合同会合：第125回秋期大会前日に実施。参加者11名。

(2)女性会員の会

第14回会合：第124回春期大会第1日目(5月18日)に実施。参加者21名(女性17名、男性応援4名)。

第5回託児室設置：第124回春期大会中に実施。利用者0名。

第15回会合：第125回秋期大会第1日目(11月9日)に実施。参加者23名(女性20名、男性応援3名)

第6回託児室設置：第125回秋期大会中に実施。利用者1名。



### 3. 中堅企業R&D支援

二次加工業界の多くを占める中堅企業との情報交換(無料講演会・相談会)を開始し、中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業R&D支援プログラム」の準備を行った。当会紹介のパンフレット更新、WEB技術相談室開設を行い、会員サービス向上による会員基盤増強を計画した。また、春秋講演大会においても、ユーザー企業参加促進策として企業交流会を計画した。

### 4. 支部活動

#### (1) 北海道支部

| 計画   | 実施状況  |
|--|---|
| 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>支部理事会、支部評議員会(1回)<br>2. 講演会等<br>①アルミ製品製造の高度化技術講演会(苫小牧)<br><br>②ものづくり技術交流会(3. 人材育成で実施)<br>生産現場における改善事例報告会(苫小牧)<br><br>③支部講演大会 平成25年4月19日(旭川)<br>④招待講演<br><br>3. 人材育成<br><br>4. 表彰関係<br><br>5. 維持会員加入勧誘活動<br><br>特記事項)<br>①アルミ製品製造の高度化技術講演会(5回)は「北海道アルミニウム利用技術研究会」と共同開催<br>②支部講演大会は日本鑄造工学会北海道支部と合同開催→平成25年4月19日(旭川)にて開催<br>③第1回ものづくり技術講習会は、北海道アルミニウム利用技術研究会主催、軽金属学会北海道支部後援として開催 | 1. 支部理事会、支部評議員会<br>平成26年2月26日開催<br>2. 講演会等<br>①アルミ製品製造の高度化技術講演会 5回開催<br>・第1回 平成25年10月23日<br>演題:「ダイカスト金型の損傷対策」<br>講師:大同特殊鋼(株) 河野正道<br>・第2回(見学会) 平成25年11月20日~21日<br>場所:(株)アーレスティ栃木<br>(株)UACJ 押出加工小山(旧:古河スカイ(株))<br>・第3回 平成26年1月30日<br>演題:「溶湯使いになろう!! ~アルミニウム合金溶湯特性の制御~」<br>講師:日軽エムシーアルミ(株) 北岡山治<br>・第4回 平成26年2月25日<br>演題:「非破壊検査の概要とその適用例」<br>講師:道総研工業試験場 相山英明<br>・第5回(見学会) 平成26年3月12日<br>場所:道総研工業試験場<br>③支部講演大会開催 平成25年4月19日(旭川)<br>④招待講演<br>・第1回 平成26年2月27日<br>演題:「6000系アルミニウム合金の新展開を目指して」<br>講師:富山大学大学院 教授 松田健二<br>・第2回 平成26年3月7日<br>演題:「人生は奇なり」<br>講師:旭川工業高等専門学校校長 高橋英明<br>3. 人材育成<br>・第1回ものづくり技術講習会 平成25年12月4日~6日<br>講師:東京都産業技術研究センター 佐藤健二<br>内容:企業の若手技術者を対象に、アルミニウム鑄物の品質評価手法について実技指導を実施<br>4. 表彰関係<br>特になし<br>5. 維持会員加入勧誘活動<br>3社勧誘するも、入会不可。今後も引き続き勧誘する |

#### (2) 東北支部

| 計画   | 実施状況  |
|--|---|
| 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>役員会(2回)<br>2. 講演会等<br>①主催講演会(2回) | 1. 役員会<br>平成26年3月25日開催<br>2. 講演会等<br>①主催講演会<br>・第1回 平成25年11月22日<br>演題:「チタンプロセスの新展開」<br>・第2回 平成26年3月25日<br>演題:「若手研究者による最近のチタン系生体材料の研究」 |

|   |   |
|---|---|
| <p>②共催行事(3回)</p> <p>3. 人材育成</p> <p>4. 表彰関係</p> <p>①高橋記念賞推薦</p> <p>②軽金属希望の星賞一次選考、推薦</p> <p>③軽金属希望の星東北支部賞支部選考、表彰</p> <p>5. 維持会員加入勧誘活動<br/>訪問活動継続</p>  | <p>開発</p> <p>②共催講演</p> <p>・第1回 平成25年10月7日、8日<br/>演題:「インプラントデバイス構築に向けた金属系バイオマテリアルの研究開発の最前線」</p> <p>3. 人材育成<br/>第2回主催講演会で学生を聴講させた</p> <p>4. 表彰関係</p> <p>①該当者なく推薦なし</p> <p>②候補2名のうち1名を本部推薦⇒受賞</p> <p>③他1名を支部表彰</p> <p>5. 維持会員加入勧誘活動<br/>企業訪問、パンフレット配布等実施</p> |
| <p>特記事項)</p> <p>2-①主催講演会第1回 講演内容</p> <p>・「金属チタン製造法の新提案あれこれ」 北海道大学大学院 鈴木亮輔</p> <p>・「進化するチタンのMIMプロセッシング」 九州大学大学院 三浦秀士</p> <p>2-①主催講演会第2回 講演内容</p> <p>・「溶液プロセスによるチタン系材料のナノ構造制御ー水熱法、陽極酸化法、水熱電気化学法ほかー」<br/>東京工業大学応用セラミックス研究所 松下伸広</p> <p>・「ローテク・ローコスト表面処理技術を利用した高機能チタン生体材料の創製」<br/>北見工業大学機器分析センター 大津直史</p> <p>2-②共催講演 講師 21名</p> |   |

(3)関東支部

| 計画  | 実施状況  |
|---|---|
| <p>1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br/>支部運営委員会(4回)</p> <p>2. 講演会等</p> <p>①第125回秋期大会(横浜国大)の実行援助</p> <p>②工場見学会</p> <p>3. 人材育成<br/>若手研究者育成研修会</p> <p>4. 表彰関係</p> <p>①高橋記念賞推薦</p> <p>②軽金属功労賞推薦</p> <p>③軽金属希望の星賞一次選考、推薦</p> <p>5. 維持会員加入勧誘活動<br/>訪問活動継続</p> | <p>1. 運営委員会<br/>4回(平成25年5月22日、8月2日、12月7日、平成26年2月12日)開催。</p> <p>2. 講演会等</p> <p>①実行委員会に参画。</p> <p>②工場見学会 平成25年12月12日<br/>見学先:(株)UACJ 押出加工小山<br/>富士重工業(株)宇都宮製作所航空宇宙カンパニー<br/>参加者:41名</p> <p>3. 若手研究者育成研修会開催<br/>日時:平成25年9月23日、24日<br/>場所:神戸製鋼所鬼怒川保養所、真岡製造所<br/>参加者:36名 若手研究者25名(企業5名、学生20)、<br/>関東支部運営委員11名(企業4名、学側7名)<br/>若手研究者講演発表件数:25件<br/>特別講演:「IHIにおける軽合金部材と関連開発」<br/>(株)IHI 黒木康徳</p> <p>4. 表彰関係</p> <p>①2名推薦し、2名とも受賞決定。</p> <p>②第3回運営委員会で審議。1名推薦し、受賞決定</p> <p>③第3回運営委員会で審議。16名推薦し、全員受賞決定</p> <p>5. 維持会員勧誘活動</p> <p>・訪問は未実施。</p> <p>・講習会開催<br/>主催:軽金属学会、茨城県工業技術センター<br/>日時:平成25年10月17日<br/>場所:茨城県工業技術センター<br/>テーマ:アルミニウム材料(板、押出)の加工技術講習会</p> |
| <p>特記事項)</p> <p>・軽金属誌の関東支部特集(平成26年7月号)の準備を小野監事(前支部長)中心に進めている。</p> <p>・若手研究者育成研修会では研究講演賞、聴講者賞、支部長賞、自動車メーカ賞など20名を表彰した。</p>  |   |

**(4)北陸支部**

| 計画   | 実施状況  |
|--|---|
| 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>①定例幹事会(2回)<br>②大会実行委員会(2回)<br>2. 講演会等<br>①第124回春期大会<br>②秋期講演会<br>3. 人材育成<br>①幹事研修会<br>②若手育成支援事業<br>4. 表彰関係<br>5. 維持会員加入勧誘活動  | 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>①定例幹事会(2回) 平成25年4月16日<br>平成25年10月4日<br>②大会実行委員会(1回) 平成25年4月16日<br>2. 講演会等<br>①第124回春期大会開催 平成25年5月17-19日<br>②秋期講演会 平成25年11月22日<br>(招待講演2件、企業発表2件)<br>3. 人材育成<br>①幹事研修会 平成25年11月14日<br>(ゴールドウィン、コマツキャストックス見学)<br>②若手育成支援事業 企業見学 74名参加・平成25年8月<br>21日、22、23、29日、30日、9月3、5、12日(三協マテリアル<br>(株)、YKKAP(株)、(株)ジェイテクト、太平洋製鋼(株)、サンエ<br>ツ金属(株)、(株)TAN-EI-SYA、(株)アライドマテリアル、(株)八<br>尾キタノ製作)<br>4. 表彰関係<br>希望の星賞募集、1名決定。<br>5. 維持会員加入勧誘活動<br>4月16日、11月2日、11月14日に実施。 |
| 特記事項)<br>協賛事業<br>①日本熱処理技術協会中部支部 (4月13日、石川県工業試験場)<br>②富山大学材料機能工学科第1回特別講演会 (5月14日、富山大学)<br>③富山大学材料機能工学科第2回特別講演会 (5月28日、富山大学)<br>④日本鉄鋼協会北陸信越支部 湯川記念講演会 (7月29日、富山市)<br>⑤日本・ノルウェーアルミニウム合金シンポジウム (6月3～6日、富山・立山)<br>⑥富山大学材料科学国際シンポジウム(ICPMAT) (8月13日～16日、中国・山東大学)<br>⑦富山大学材料研究会 (10月2日、富山大学、2月10日、富山大学)<br>⑧無機膜研究会 (10月2日、富山大学)<br>⑨富山大学材料機能工学科第3回特別講演会 (11月7日、富山大学)<br>⑩富山大学材料機能工学科第4回特別講演会 (11月28日、富山大学)<br>⑪日本金属学会北陸信越支部本多光太郎記念講演会 (12月14日、信州大学) |   |

**(5)東海支部**

| 計画   | 実施状況   |
|--|--|
| 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>①総会<br>②評議会<br>③理事会(3回)<br>④若手の会(軽進会)、女性会員の会<br>2. 講演会等<br>①講演会(2回)<br>②研究部会(航空機材料部会、プレス加工部会)<br>③TECH Biz2013:支部活動展示<br>3. 人材育成 | 1. 支部会合<br>①平成25年4月18日(名古屋大学 ES 総合館)<br>②同上<br>③第1回 平成25年6月25日<br>第2回 平成26年1月15日<br>第3回 平成26年3月18日<br>④軽進会 平成25年9月24日<br>三菱アルミニウム(株)工場見学、ポスター講演<br>第4回女性の会 平成25年12月6日<br>女性研究者の交流<br>「ライフプラン・キャリアプランを考える2」<br>2. 講演会<br>①第1回 平成25年4月18日<br>「船舶、海洋開発と軽金属の将来」<br>第2回 平成26年1月15日<br>「アルミニウム材料を活用するための新技術」<br>②加工部会第6回懇談会 平成25年7月9日<br>航空機材料部会の活動成果を基に今年度国プロ「革新的新<br>構造材料等技術開発」において(株)UACJを中心に実施中<br>③支部活動展示、セミナー 平成25年10月9-10日<br>『自動車輸送分野の軽量化に貢献する軽金属材料とそ<br>の加工技術』<br>3. 若手研究者ポスター講演会 平成25年10月21日 |

|   |   |
|---|---|
| 若手ポスター講演会<br>4. 表彰関係<br>5. 維持会員加入勧誘活動   | 4. 優秀ポスター賞 5名表彰 平成 25 年 10 月 21 日<br>5. 企業への勧誘を実施 |
| 特記事項)   |   |
| 1)第 1 回講演会 「船舶、海洋開発と軽金属の将来」<br>「船舶の発展や海洋開発の可能性」 内山 R&D(技術士)事務所 所長 内山智晴(利光)<br>「海底資源と掘削技術」 独立行政法人 海上技術安全研究所 研究統括主幹 田村兼吉  |   |
| 2)第 2 回講演会 「アルミニウム材料を活用するための新技術」<br>「プレコート塗料における各種機能、意匠塗料のご紹介」 日本ファインコーティングス(株) グローバル開発本部 大島和美<br>「樹脂と金属との一体化技術の進展」 ダイセル・エポニック(株)テクニカルセンター 六田充輝<br>「アルミニウム合金とプラスチックまたはCFRPのレーザ直接接合」 大阪大学接合科学研究所 川人洋介<br>「アルミニウムと鋼材の接合における防食技術」 NOF メタルコーティングス(株)技術本部 篠原知行<br>「アルミボルトの適用と実用化」 住友電気工業(株) 電子材料機能材営業部 岡村信幸<br>「アルミニウムによる軽量化と防音技術」 (株)神戸製鋼所 アルミ鋼事業部門技術部 杉本明男 |   |
| 3)プレス加工部会第 6 回懇談会 「競争力のあるプレス加工部品」<br>「デンソーでの部品競争力強化の取り組みについて」 (株)デンソー 杉山 聡<br>「電気自動車用大型リチウムイオン電池ケースを成形する順送プレス工法の開発」 久野金属工業(株) 久野功雄<br>「アルミ合金製高圧水素容器の開発状況とこれに関わるプレス加工技術について」 サムテック(株) 西脇秀晃   |   |
| 4)TECH Biz2013 セミナー『自動車輸送分野の軽量化に貢献する軽金属材料とその加工技術』<br>「軽金属への誘(いざ)ない ～軽金属学会活動と軽金属材料開発トピックス～」 科学技術交流財団 三輪謙治<br>「薄板連続鋳造法(FLEXCASTER)による自動車用アルミニウム合金材の開発」 日本軽金属(株) 穴見敏也<br>「自動車の軽量化に貢献するアルミニウムとその加工技術」 住友軽金属工業(株) 田中晃二<br>「トヨタにおけるハイブリッド自動車と金属材料開発」 トヨタ自動車(株) 牧野 浩   |   |
| 5)若手研究者ポスター講演会 特別講演会<br>「超微細粒強化と時効析出強化を並立させる新規アルミニウム合金展伸材の開発とその合金設計指導原理の確立」 横浜国立大学 廣澤渉一<br>「TiAl 合金の基礎特性と実用化開発」 大同特殊鋼(株) 小柳禎彦   |   |
| 6)第 15 回「エネルギー利用」技術作品コンテストの審査 平成 25 年 10 月 19 日<br>一般社団法人軽金属学会会長賞(創造性を発揮してアルミニウムやその合金等に関わる物として製作を行い、学術的にも優れている作品)審査を東海支部が担当したが該当なし。   |   |
| 7)協賛事業<br>①次世代自動車地域産学官フォーラム 平成 25 年 10 月 30 日<br>「技術開発セミナー-自動車部品の軽量化に貢献するアルミニウム鋳造技術シンポジウム」<br>②名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター 平成 25 年 12 月 2 日<br>「第 13 回次世代自動車公開シンポジウム「車両、部品軽量化技術の最新動向」について(報告)」<br>③日本塑性加工学会東海支部 平成 25 年 12 月 18、19 日<br>「東海支部第 26 回塑性加工技術セミナー-基礎から学ぶ塑性加工実践教育講座(鋳造 3 回コース)-シミュレーションで確かめる鋳造加工(3 回目)-」  |   |

#### (6)関西支部

| 計画   | 実施状況   |
|--|--|
| 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>①支部理事会(2 回)<br>②支部幹事会(2 回)                   | 1. 支部理事会・幹事会<br>・第 1 回 平成 25 年 4 月 11 日<br>年間活動計画、について議論、進め方を決定。<br>・第 2 回 平成 26 年 1 月 7 日<br>希望の星賞選考、各行事の振り返り、反省点まとめ  |
| 2. 講演会等<br>①支部シンポジウム   | 2. 支部シンポジウム 平成 25 年 9 月 9 日<br>関西大学千里山キャンパス、講演 2 件 参加約 50 名  |
| 3. 人材育成<br>①関西軽金属サマースクール<br>②若手研究者院生による研究発表会<br>③大学院生フィールドワーク助成プログラム | 3. 人材育成<br>①平成 25 年 9 月 9 日 (関西大学千里山キャンパス)<br>講演 2 件 参加約 50 名<br>②平成 25 年 12 月 18 日 (兵庫県立大学)<br>研究発表 7 件、ポスターセッション<br>優秀発表賞表彰、優秀ポスター賞表彰<br>③報告会 平成 25 年 12 月 18 日<br>・大学と企業の組み合わせ<br>大阪大学・昭和電工(株)、兵庫県立大学・東洋アルミニウム(株)、大阪工業大学(独法)造幣局 |
| ④出前講座<br>(軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)                                      | ・9 月-12 月にフィールドワーク実施<br>④平成 25 年 8 月 26 日 (滋賀県東北部工業技術センター)<br>講演 2 件、参加約 40 名  |

|   |  |
|---|--|
| 4. 表彰関係<br>①高橋記念賞推薦<br>②軽金属功労賞推薦<br>③軽金属希望の星賞一次選考、推薦<br>5. 維持会員加入勧誘活動<br>訪問活動継続 | 4. 表彰関係<br>①推薦なし<br>②推薦なし<br>③5名推薦、5名受賞<br>5. 維持会員勧誘活動<br>訪問活動継続 |
| 特記事項)   |  |

(7)中国四国支部

| 計画  | 実施状況   |
|---|--|
| 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>役員会<br>2. 講演会等<br>①第5回支部講演大会(香川大学)<br>②研究会(2回)<br>3. 人材育成<br>若手フォーラム<br>4. 表彰関係<br>支部賞(奨励賞、優秀講演賞、研究・開発奨励賞)授与<br>5. 維持会員加入勧誘活動 | 1. 支部会合<br>第1回支部役員会 平成25年7月6日 香川大学<br>2. 講演会等<br>①平成25年7月6日<br>②第1回 平成25年6月28日 愛媛大学<br>第2回 平成25年10月25日 鳥取大学<br>3. 若手フォーラム 平成25年11月22日<br>岡山交際交流センター<br>4. 支部長表彰<br>・奨励賞 13件 平成26年3月5日<br>・優秀講演賞 8名、研究・開発奨励賞 6名 平成25年7月6日<br>5. 維持会員勧誘活動<br>来期からの中堅企業 R&D 支援活動に公設試からの協力受諾 |
| 特記事項)   |  |

(8)九州支部

| 計画  | 実施状況   |
|---|--|
| 1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合<br>①役員会(2回)<br>②例会(2回)<br>2. 講演会等<br>合同学術講演会共催<br>3. 人材育成<br>4. 表彰関係<br>5. 維持会員加入勧誘活動  | 1. 役員会・例会<br>・第1回 平成25年8月2日 不二ライトメタル<br>・第2回 平成26年2月7日 アーレスティ熊本<br>2. 講演会等<br>合同学術講演会 平成25年6月8日<br>熊本県民交流館パレア<br>3. 人材育成<br>若手ポスター発表会 平成25年6月8日<br>4. 表彰関係<br>・7月 第36回高橋記念賞推薦<br>・8月 若手ポスター発表会優秀者に記念盾贈呈<br>・12月 希望の星賞一次選考、受賞<br>・12月 金属学会功労賞推薦、受賞<br>・2月 希望の星九州支部賞授与<br>5. 維持会員加入勧誘活動<br>2月にアンケート配布して現在集約中 |
| 特記事項)   |  |
| 1)第89回例会(各種受賞記念講演会) 平成25年8月2日<br>(1)講演会<br>「長周期積層構造型マグネシウム合金の開発」 河村能人(熊本大学)<br>「巨大ひずみ加工による高性能材料の創製」 堀田善治(九州大学)<br>「Mg-Li合金の開発」 上田祐規(不二ライトメタル(株))<br>「LPSO型Mg合金の不均一変形挙動」 野口量介(九州大学)<br>(2)工場見学<br>2)日本マグネシウム協会 九州支部設立記念シンポジウム後援 平成25年10月25日<br>3)第90回例会(九州支部マグネシウム合金開発事情) 平成26年2月7日<br>(1)工場見学<br>(2)講演会<br>「マグネシウム合金ダイカストと自動車部品」 武田 秀((株)アーレスティ 技術部)<br>「最先端電子顕微鏡によるLPSO型Mg合金の微細構造解析」 阿部英司(東京大学)<br>「マグネシウムおよびその合金の結晶粒超微細化と高性能化」 堀田善治(九州大学) |  |

## II. 処務の概況

### [1] 役員等に関する事項

#### 1. 役員

| 職名           | 氏名    | 常勤・非常勤 | 就任年月日<br>(最初の就任の時) | 重任年月日<br>(現在の任期の開始時) | 報酬 | 担当<br>*:委員長        | 現職名                          |
|--------------|-------|--------|--------------------|----------------------|----|--------------------|------------------------------|
| 代表理事<br>・会長  | 金武 直幸 | 非常勤    | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | なし | 組織 *               | 名古屋大学教授                      |
| 代表理事<br>・副会長 | 熊井 真次 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 総合計画 *<br>組織       | 東京工業大学教授                     |
| 同上           | 相浦 直  | 同上     | 平成 21 年 5 月 22 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 総合計画<br>組織<br>国際交流 | (株)神戸製鋼所担当部長                 |
| 理事           | 伊藤 吾朗 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 企画                 | 茨城大学教授                       |
| 同上           | 興戸 正純 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 支部                 | 名古屋大学教授                      |
| 同上           | 鎌土 重晴 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 研究                 | 長岡技術科学大学教授                   |
| 同上           | 久保田正広 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 国際交流               | 日本大学教授                       |
| 同上           | 佐藤 英一 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 編集 *               | 宇宙航空研究開発機構教授                 |
| 同上           | 佐々木 元 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 大会運営               | 広島大学教授                       |
| 同上           | 高橋 英徳 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 支部 *               | 北海道総合研究機構主査                  |
| 同上           | 戸田 裕之 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 研究                 | 九州大学教授                       |
| 同上           | 高山 善匡 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 総務                 | 宇都宮大学教授                      |
| 同上           | 中島 英治 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 参与会                | 九州大学教授                       |
| 同上           | 成島 尚之 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 編集                 | 東北大学教授                       |
| 同上           | 羽賀 俊雄 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 総務                 | 大阪工業大学教授                     |
| 同上           | 松田 健二 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 大会運営 *             | 富山大学教授                       |
| 同上           | 山本 厚之 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 参与会                | 兵庫県立大学教授                     |
| 同上           | 阿見 秀一 | 同上     | 平成 24 年 5 月 19 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 大会運営               | 三協立山(株)執行役員                  |
| 同上           | 土田 孝之 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 国際交流 *             | 日本軽金属(株)執行役員                 |
| 同上           | 神戸 洋史 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 企画 *               | 日産自動車(株)<br>エキスパートリーダー       |
| 同上           | 栃木 雅晴 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 企画                 | 昭和電工(株)小山事業所長                |
| 同上           | 村松 俊樹 | 同上     | 平成 23 年 5 月 21 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 総務 *               | (株)UACJ 技術開発研究所<br>深谷研究センター長 |
| 同上           | 吉田 英雄 | 同上     | 平成 19 年 5 月 11 日   | 平成 25 年 5 月 18 日     | 同上 | 研究 *<br>編集         | (株)UACJ 顧問                   |
| 同上           | 渡部 晶  | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 参与会 *              | 三菱アルミニウム(株)<br>執行役員          |
| 監事           | 本保元次郎 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 監事                 | 千葉工業大学教授                     |
| 同上           | 福井 康司 | 同上     | 平成 25 年 5 月 18 日   |                      | 同上 | 同上                 | 東洋アルミニウム(株)<br>取締役常務執行役員     |

### [2] 職員に関する事項

| 職名   | 氏名    | 常勤・非常勤 | 採用年月日           | 担当事務 | 備考                |
|------|-------|--------|-----------------|------|-------------------|
| 事務局長 | 大園 智哉 | 常勤     | 平成 17 年 4 月 1 日 | 全般   | 平成 25 年 6 月 1 日退職 |
| 事務局長 | 石川 和徳 | 常勤     | 平成 25 年 1 月 1 日 | 全般   | 平成 25 年 6 月 1 日就任 |
| 職員   | 前田その美 | 常勤     | 平成 8 年 4 月 1 日  | 庶務   |                   |
| 職員   | 木村 明子 | 常勤     | 平成 8 年 4 月 1 日  | 編集   |                   |
| 職員   | 高野 正明 | 非常勤    | 平成 16 年 4 月 1 日 | 経理   |                   |

[3]会議等に関する事項

1. 総会

| 会議名          | 開催年月日         | 議事事項   | 会議の結果  |
|--------------|---------------|--|--|
| 平成 25 年度定時総会 | 25 年 5 月 18 日 | 1. 平成 24 年度事業報告に関する件(報告)<br>2. 平成 24 年度決算報告に関する件(審議)<br>3. 平成 25 年度事業計画の件(報告)<br>4. 平成 25 年度収支予算に関する件(報告)<br>5. 平成 25・26 年度役員(審議)<br>6. 名誉会員推薦(審議) | 1. 全員異議なく原案通り確認。<br>2. 全員異議なく原案通り承認可決。<br>3. 全員異議なく原案通り確認。<br>4. 全員異議なく原案通り確認。<br>5. 全員異議なく原案通り承認可決。<br>6. 全員異議なく原案通り承認可決。 |

2. 理事会(審議事項のみ記載)

| 会議名    | 開催年月日          | 議事事項   | 会議の結果   |
|--------|----------------|--|---|
| 第 16 回 | 25 年 4 月 23 日  | <p>【審議事項】</p> 1. 平成 25 年度定時総会議案に関する件<br>1) 平成 24 年度事業報告に関する件<br>2) 平成 24 年度決算報告に関する件<br>2. 第 17 回理事会に関する件<br>3. 会員異動に関する件<br>4. 感謝状に関する件<br><p>【報告事項】</p> 1. 他学協会との協賛事業の件<br>2. 常設委員会報告の件  | <p>【審議事項】</p> 1. 左記の 2 件について原案の通り全員異議なく承認可決。<br>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>3. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>4. 大園事務局長への贈呈を全員異議なく承認可決。<br><p>【報告事項】</p> 1. 資料に基づき報告。<br>2. 資料及び口頭にて報告。   |
| 第 17 回 | 25 年 5 月 18 日  | <p>【審議事項】</p> 1. 会長および副会長選任に関する件<br>2. 役員の業務担当に関する件  | <p>【審議事項】</p> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。  |
| 第 18 回 | 25 年 6 月 17 日  | <p>【審議事項】</p> 1. 常設委員会委員選任に関する件<br>2. 選考委員会委員選任に関する件<br>3. 第 126 回春期大会実行委員会委員構成案および予算書案に関する件<br>4. 特別維持会員 H25 年度会費に関する件<br>5. 支部費配分に関する件<br>6. 会員異動に関する件<br><p>【報告事項】</p> 1. 役員変更登記に関する件<br>2. 他学協会との協賛事業に関する件<br>3. 維持会員の現状に関する件<br>4. 常設委員会報告<br>5. 第 16 回「エネルギー利用」技術作品コンテスト<br>6. 参与会(7月9日) 日本自動車研究所城里テストセンター見学・講演会 | <p>【審議事項】</p> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>3. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>4. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>5. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>6. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br><p>【報告事項】</p> 1. 資料に基づき報告。<br>2. 資料に基づき報告。<br>3. 資料に基づき報告。支部勧誘依頼。<br>4. 企画、編集、総合計画等報告。<br>5. 東海支部に協力要請。<br>6. 理事に参加要請 |
| 第 19 回 | 25 年 9 月 30 日  | <p>【審議事項】</p> 1. 軽金属論文賞・論文新人賞、小山田記念賞、高橋記念賞、躍進賞、奨励賞、女性未来賞選考に関する件<br>2. 中堅企業研究開発支援プロジェクトに関する件<br>3. 会員異動に関する件<br>4. 常設・選考委員会委員変更に関する件<br><p>【報告事項】</p> 1. 第 124 回春期大会決算に関する件<br>2. 他学会との協賛事業に関する件<br>3. 日本学術会議 科学・夢ロードマップ作成に関する件<br>4. 7-9 月開催常設委員会報告  | <p>【審議事項】</p> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>2. H26 年度からの新事業検討、無料講習会を承認。1 月理事会上申予定。<br>3. 原案のとおり全員異議なく承認可決。<br>4. 原案のとおり全員異議なく承認可決。<br><p>【報告事項】</p> 1. 資料に基づき報告。<br>2. 資料に基づき報告。<br>3. 資料に基づき報告。<br>4. 資料に基づき報告。   |
| 第 20 回 | 25 年 10 月 29 日 | <p>【審議事項】</p> 1. 学会賞・功労賞・功績賞選考委員に関する件<br>2. 会員異動に関する件<br>3. 支部費 4 月 1 日配賦に関する件<br>4. 常設・選考委員会委員変更に関する件   | <p>【審議事項】</p> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>3. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>4. 原案のとおり全員異議なく承認可決。   |

|      |          |   |  |
|------|----------|---|--|
|      |          | <b>【報告事項】</b><br>1. 支部活動報告<br>2. 他学会との協賛事業に関する件<br>3. 他学協会との連携強化に関する件<br>4. 10月開催常設委員会報告  | <b>【報告事項】</b><br>1. 資料に基づき報告。<br>2. 資料に基づき報告。<br>3. 6団体への連携要請決定。<br>4. 資料に基づき報告。   |
| 第21回 | 26年1月31日 | <b>【審議事項】</b><br>1. 軽金属希望の星賞選考に関する件<br>2. 第127回秋期大会実行委員会委員構成(案)および予算書(案)に関する件<br>3. 維持会員拡大(中堅企業 R&D 支援プログラム)に関する件(来期事業計画・予算)<br>4. 支部長・常設委員会委員変更に関する件<br>5. 各種規程類の改定に関する件<br>6. 平成26年度支部配賦金に関する件<br>7. 講演大会・懇親会参加費改定に関する件<br><b>【報告事項】</b><br>1. 第125回秋期大会収支報告の件<br>2. 公益目的支出計画変更の件<br>3. 他学会との協賛事業の件<br>4. 他学協会との連携強化の件<br>5. 11、12、1月開催の常設委員会報告の件 | <b>【審議事項】</b><br>1. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>3. 原案の通り全員異議なく承認可決。支部状況により補助金調整。<br>4. 原案のとおり全員異議なく承認可決。<br>5. 改定案7件について一部修正承認。<br>6. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>7. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br><b>【報告事項】</b><br>1. 資料に基づき報告。<br>2. 資料に基づき12/27申請内容報告。<br>3. 資料に基づき報告。<br>4. 6団体への連携要請完了の報告。<br>5. 資料に基づき報告。 |
| 第22回 | 26年2月28日 | <b>【審議事項】</b><br>1. 第17回軽金属学会賞に関する件<br>2. 第16回軽金属学会功労賞に関する件<br>3. 第12回軽金属功績賞に関する件<br>4. 40周年記念刊行物電子データ販売に関する件<br>5. パンフレット更新に関する件<br>6. 会員異動に関する件<br>7. 平成26年度定時総会開催に関する件<br>8. 特別維持会員会費に関する件<br><b>【報告事項】</b><br>1. 平成25年度決算見込みおよび平成26年度予算の件<br>2. 他学会との協賛事業の件<br>3. 2月開催の常設委員会報告の件  | <b>【審議事項】</b><br>1. 全会一致で承認可決。<br>2. 全会一致で承認可決。<br>3. 全会一致で承認可決。<br>4. 全会一致で承認可決。<br>5. 全会一致で承認可決。<br>6. 全会一致で承認可決。<br>7. 総会議事に関し全会一致で承認可決。会員規程・会費規程変更実施。<br>8. 全会一致で承認可決。<br><b>【報告事項】</b><br>1. 全員異議なく予算案を確認した。<br>2. 資料に基づき報告。<br>3. 資料に基づき報告。  |
| 第23回 | 26年3月28日 | <b>【審議事項】</b><br>1. 平成26年度事業計画に関する件<br>2. 平成26年度収支予算に関する件<br>3. 規程類の改訂に関する件<br>4. 会員異動に関する件<br>5. 中堅企業 R&D 支援に関する件<br>6. 押出部会1年期間延長に関する件<br><b>【報告事項】</b><br>1. 支部平成25年度活動報告および平成26年度活動計画について<br>2. 研究部会平成25年度活動報告および平成26年度活動計画について<br>3. 他学会との協賛事業<br>4. 3月開催の常設委員会報告<br>5. 公益目的支出計画変更認可<br>6. 第17回「エネルギー利用」技術作品コンテスト                              | <b>【審議事項】</b><br>1. 一部修正し全会一致で承認可決。<br>2. 全会一致で承認可決。<br>3. 支部規程は全会一致で承認可決。倫理規程については総務委員会で再検討。<br>4. 全会一致で承認可決。<br>5. 4月活動開始を全会一致で承認可決。<br>6. 全会一致で承認可決<br><b>【報告事項】</b><br>1. 全異議なく確認した。<br>2. 全異議なく確認した。<br>3. 資料に基づき報告。<br>4. 資料に基づき報告。<br>5. 資料に基づき1年延長認可を報告。<br>6. 中国四国支部で審査員派遣を決定。                      |



3. 常設委員会  
(1)総合計画委員会

| 会議名                    | 開催年月日          | 議事事項  | 会議の結果   |
|------------------------|----------------|---|---|
| 第 11 回                 | 25 年 4 月 23 日  | 1. 平成 24 年度決算・25 年度予算<br>2. 次期委員会引継事項   | 1. 最終決算報告承認。<br>2. 常設委員会引継事項確認とまとめ。   |
| 平成 25 年<br>度第 1 回      | 25 年 6 月 17 日  | 1. 引継事項と今期活動計画<br>2. 編集委員会要望<br>3. 維持会員増強について<br><br>4. 特別維持会員会費徴収について<br>5. 支部費配分について              | 1. 常設委員会活動計画を確認。<br>2. 会誌充実の対策報告と協力要請<br>3. 中堅規模維持会員技術開発支援プログラムの提案と秋期開催の無料講習会内容検討<br>4. 原案の通り全員異議なく承認可決。<br>5. 原案の通り全員異議なく承認可決。   |
| 維持会員増<br>強 WG          | 25 年 7 月 4 日   | 1. 関東支部無料講習会について  | 1. 10/17 茨城県工業技術センターでの開催決定。   |
| 第 2 回                  | 25 年 9 月 30 日  | 1. 7-9 月開催常設委員会活動報告<br>2. 他学協会との連携強化について<br><br>3. 維持会員増強について<br><br>4. 常設委員会での検討依頼事項               | 1. 資料に基づき活動結果報告。<br>2. 支部長会提案報告。他常設委員会提案を次回まとめる。<br>3. 維持会員技術開発支援プログラムの事業内容、各常設委員会への依頼事項、学会内での承認スケジュール等報告。<br>4. 学会長検討依頼事項確認。     |
| 第 3 回                  | 25 年 10 月 29 日 | 1. 他学協会との連携強化提案まとめ<br>2. 維持会員増強について<br>3. 支部活動中間報告<br>4. 支部費配賦の早期化について                              | 1. 関連 6 団体への依頼を決定。<br>2. 支部長へ説明し協力要請。<br>3. 資料に基づき報告。<br>4. 4 月 1 日配賦案を承認。  |
| 維持会員増<br>強 WG 第 1<br>回 | 25 年 12 月 11 日 | 1. 公設試処遇について<br>2. 水戸無料講習会の反省について<br><br>3. 支部活動への組入れについて<br>4. 維持会員勧誘パンフレットについて                    | 1. 会誌、概要集無料贈呈など決定。<br>2. 無料講習会改善点を企画委員会で検討することとした。<br>3. R&D 支援プログラム内容を確認し、支部長へ組入れ要請を実施。<br>4. 総務委員会で 1/16 に業者選定し、3 月末までに作成予定を確認。 |
| 維持会員増<br>強 WG 第 2<br>回 | 26 年 1 月 22 日  | 1. 支部活動への R&D 支援プログラム組入れ<br>2. 総務委員会取組進捗について<br>3. 企画委員会取組進捗について<br>4. 理事会上申内容について                  | 1. 支部現状を反映した内容と決定。<br>2. パンフ、WEB 相談、表彰内容報告。<br>3. 講習会案、講師案報告。<br>4. 事業化前段階として予算 200 万円計上を決定。                                      |
| 維持会員増<br>強 WG 第 3<br>回 | 26 年 2 月 20 日  | 1. 総務委員会取組進捗について<br><br>2. 企画委員会取組進捗について<br><br>3. 支部活動計画作成について<br>4. 理事会上申内容について                   | 1. パンフ、WEB 相談、中堅企業表彰進捗報告。<br>2. 支部講演会内容確認。支部ニーズに合った講演、講師を都度検討予定。<br>3. 「維持会員拡大プロジェクト支部体制化と実施(準備)計画」策定を支部へ依頼。<br>4. パンフ作成費用上申を決定。  |
| 第 4 回                  | 26 年 2 月 28 日  | 1. 平成 25 年度決算予測および平成 26 年度予算案について<br>2. 他学協会との連携強化提案まとめ<br>3. 中堅企業 R&D 支援活動について<br>4. 常設委員会構成人員について | 1. 原案のとおり確認。<br>2. 今後の進め方を討議、決定。<br>3. 支部セミナー、支部企業奨励賞を協議した。一部修正することとした。<br>4. 1 機関複数名の選出を認め、さらに委員数枠拡大を検討することとした。                  |
| 第 5 回                  | 26 年 3 月 28 日  | 1. 平成 26 年度予算案について<br>2. 支部平成 25 年度活動報告と平成 26 年度活動計画について<br>3. 中堅企業 R&D 支援活動について                    | 1. 原案のとおり確認。<br>2. 原案のとおり確認。<br>3. パンフ最終案、支部来期活動、支部企業奨励賞の修正案を確認した。  |

## (2)総務委員会

| 会議名             | 開催年月日          | 議事事項   | 会議の結果  |
|-----------------|----------------|--|--|
| 第 251 回         | 25 年 7 月 3 日   | 1. 引継事項について<br>2. 今期活動計画について<br>3. 第 125 回秋期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い   | 1. 8 常設委員会引継事項を確認した。<br>2. 会長方針、他委員会の活動計画を確認し、総務委員会活動担当決定。<br>3. 軽圧 6 社及び三協立山への従来同様の寄付の依頼を承認。  |
| 第 252 回         | 25 年 9 月 9 日   | 1. 会員特典・倫理規程・パンフ WG 報告<br>2. HP・広報・人材育成・出版 WG 報告<br>3. 中堅企業研究開発支援プロジェクト  | 1. 名誉・永年会員規程改定せず、維持会員規程特典見直し。倫理規程は次回提案。パンフは次回、案作成、広告代理店と内容調整。<br>2. 日本語 HP 修正点確認。事務局より英語 HP コンテンツ追加要請。<br>3. 総合計画委員会案を報告。  |
| 第 253 回         | 25 年 11 月 18 日 | 1. 倫理規程について<br>2. パンプ改定案について<br>3. 日本語 HP 見直しについて<br>4. 英語 HP 追加コンテンツについて<br>5. 表彰制度、選考方法見直しについて<br>6. 委員会構成見直しについて<br>7. 規程類の改定について<br>8. 維持会員拡大(公設試活用時特典、中堅企業表彰)について<br>9. 軽金属希望の星賞支部推薦枠について | 1. 改定案内容決定。次回取りまとめ。<br>2. 3 案に絞り、業者 2 社に見積り予定。<br>3. 事務局修正内容紹介。研究部会紹介を追加要請。内容案次回提示。<br>4. 作成担当決定。次回案提示。<br>5. 現状把握。授与物見直し検討開始。<br>6. 各常設委員会へアンケート計画。<br>7. 会員規程、会費規程、編集委員会規程、投稿規程、表彰規程、小山田記念賞規程改定について承認。理事会へ上申予定。<br>8. 特典 3 点を承認。表彰制度検討。パンフへ内容掲載予定。<br>9. 事務局の 25 名枠案を承認。 |
| 第 254 回         | 26 年 1 月 16 日  | 1. 倫理規程について<br>2. パンプ改定業者選定について<br>3. 表彰授与物について<br>4. 日本語 HP 見直しについて<br>5. 英語 HP 見直しについて<br>6. 平成 25 年度軽金属希望の星賞二次選考<br>7. 維持会員拡大 WG 要請対応について<br>8. 規程類改定案について<br>9. 大会参加費改定の件                  | 1. 改定案一部見直し。<br>2. 業者決定し、今後の予定確認。<br>3. 学会賞紙賞状 A3 サイズ化決定。<br>4. 事務局修正状況確認。<br>5. 修正コンテンツ内容確認。<br>6. 30 名選考、理事会に上申決定。<br>7. WEB 相談、中堅企業表彰案議論。<br>8. 大会規程、特任編集委員細則の改定案を承認。<br>9. 大会運営委員会値上げ案を承認  |
| パンフレット WG 第 1 回 | 26 年 2 月 6 日   | 1. 1 次修正について<br>2. 使用写真について<br>3. 今後の予定  | 1. WG 修正案を検討し、2 次修正へ<br>2. 15 枚の写真使用を決定。<br>3. 2/28 理事会で 2 次修正案報告、3 月 3 次修正案作成、3000 部印刷の予定。  |
| パンフレット WG 第 2 回 | 26 年 3 月 10 日  | 1. 2 次修正について<br>2. 使用写真について<br>3. 今後の予定  | 1. 修正内容を確認した。<br>2. 8 枚の写真を選考。<br>3. 3/28 理事会で 3 次修正案報告。4/10 完成見込み。  |
| 第 255 回         | 26 年 3 月 10 日  | 1. 倫理規程案について<br>2. パンプ 2 次修正案について<br>3. 研究部会紹介 HP について<br>4. 英語 HP について<br>5. WEB 維持会員技術相談室について<br>6. 中堅企業表彰制度について<br>7. 常設委員会委員構成について<br>8. 第 126 回春期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い<br>9. 会費滞納者への処置について | 1. 原案のとおり理事会に上申予定。<br>2. パンプ WG 修正案を確認し 3 次案を理事会に諮ることとした。<br>3. 会誌の部会紹介記事掲載を決定。<br>4. 4/1 オープンに向けコンテンツ見直。<br>5. WEB 相談の内容を承認した。<br>6. 支部長要望を反映した修正案確認。<br>7. 1 機関複数名の委員選出を承認。出席率を考慮した最適な委員定数増加の可否を常設委員会に打診することとした。<br>8. 軽圧 5 社及び三協立山への従来同様の寄付の依頼を承認。<br>9. 総務委員からの督促を要請。  |

## (3)企画委員会

| 会議名                    | 開催年月日     | 議事事項   | 会議の結果   |
|------------------------|-----------|--|---|
| 第1回維持<br>会員増強<br>WG分科会 | 25年4月24日  | 1. 総合計画委員会要請の維持会員増強イベント企画  | 1. WG案で無料講習会イベント案検討。  |
| 平成23・24<br>年度<br>第11回  | 25年5月10日  | 1. 中堅企業向け講習会等イベント開催<br>2. 新規セミナー「状態図と組織 初級編」内容<br>3. 91回シンポジウムの準備状況<br>4. 新規シンポジウム「解析・分析技術」内容<br>5. 平成25年度基礎講座の準備状況  | 1. イベント案を検討。<br>2. 準備状況を確認。<br>3. 準備状況を最終確認。<br>4. 準備状況を確認。<br>5. 準備状況を確認。  |
| 第2回維持<br>会員増強<br>WG分科会 | 25年6月18日  | 1. 無料講習会内容検討   | 1. 製造現場紹介 DVD、講師、開発事例紹介、開催場所案作成。  |
| 平成25・26<br>年度第1回       | 25年7月4日   | 1. 中堅企業向け講習会等開催について<br>2. 引継事項・今期活動について<br>3. 新規セミナー「状態図と組織 初級編」内容<br>4. 新規シンポジウム「解析・分析技術」内容<br>5. 91回シンポジウムの開催報告<br>6. 平成25年度基礎講座の準備状況  | 1. 10/17 茨城県工業技術センターでの開催決定。会告内容検討。<br>2. 会長方針、今期活動内容を確認し、担当を決定。<br>3. 準備状況を確認。<br>4. 準備状況を確認。<br>5. 会誌掲載案、アンケート結果確認。<br>6. 準備状況を最終確認。   |
| 第3回維持<br>会員増強<br>WG分科会 | 25年8月20日  | 1. 無料講習会開催準備<br>1)講師への講演依頼<br>2)HPへの開催案内<br>3)アンケート、開催報告   | 1. 講習会内容を最終決定。<br>1)講演依頼を事務局が実施。<br>2)HP掲載を事務局が実施。<br>3)世話人が作成することとした。  |
| 第2回                    | 25年9月12日  | 1. 「解析・分析技術」シンポジウム案について<br>2. 維持会員無料講習会について<br>3. 平成25年度基礎講座「アルミニウムの製造技術」の実施結果<br>4. 「組織と性質」青本のPDF出版化について<br>5. セミナーDVD活用方法について<br>6. 専門家OBリスト作成について   | 1. 6/13開催、講師決定。<br>2. 10/17水戸開催、アンケート検討。<br>3. 50名参加。講師アンケート、次回事前講師説明会で運営改善を計画。<br>4. 見積、理事会提案書を検討。<br>5. 有効利用方法を検討。<br>6. 年齢順、地域別OBリスト提示。  |
| 第3回                    | 25年11月19日 | 1. 新規セミナー「状態図と組織 初級編」案<br>2. 「解析・分析技術」シンポジウムについて<br>3. 維持会員無料講習会について<br>4. 「組織と性質」青本のPDF出版化について<br>5. 製造工程動画配信について<br>6. 専門家OBリスト作成について  | 1. 7月開催に向け内容、講師検討。<br>2. 最終会告をHP、会誌掲載準備中。<br>3. 水戸開催反省、改善事項、講師・講演内容リスト検討。<br>4. 提案書審議。検索機能追加検討。<br>5. 3社HPの製造工程紹介を学会HPにリンク決定。HP管理会社へ委託。<br>6. 専門別OBリスト審議。活用法検討。                         |
| 第4回                    | 26年1月27日  | 1. 新規セミナー「状態図と組織と凝固 初級編」、「実用アルミ合金の組織と特性 中級編」、「時効析出基礎セミナー 上級編」案について<br>2. 92回シンポジウム会告<br>3. 維持会員無料講習会について<br>4. 平成26年度軽金属基礎講座について<br>5. 「組織と性質」青本のPDF出版化について<br>6. セミナー録画DVD使用方法について<br>7. 生産工程動画HP掲載について | 1. 7月に初級編開催決定。中級、上級編も東京でシリーズ実施。講師陣などを検討。<br>2. 2月HP、会誌掲載内容確定。<br>3. 基礎講座ppt資料作成。<br>4. 9月開催、講師見直し決定。<br>5. 検索機能追加案を総務委員会へ上申。<br>6. 講師許諾受領、企業研修利用決定。<br>7. HP掲示開始を報告                     |
| 第5回                    | 26年3月26日  | 1. 32回セミナー「状態図と組織初級編」<br>2. 93回シンポ「化学プロセス部会」について<br>3. 次世代自動車支援センター埼玉からの講演要請について<br>4. 維持会員無料講習会について<br>5. 平成26年度軽金属基礎講座について<br>6. セミナー録画DVD使用方法について<br>7. 新規シンポジウム開催について                                | 1. 開催会告案を承認。<br>2. 秋期大会期間中の開催とせず、前日無料報告会開催で再検討。<br>3. 関東支部の維持会員拡大活動として実施し、講師派遣を検討予定。<br>4. 支部講演会の演題を紹介。<br>5. 6月会告案を承認。講師人選継続。<br>6. 広島大会でデモ実施し、貸出利用を周知させる。HPにも紹介。<br>7. 3委員に次回案件提案を要請。 |

## (4)編集委員会

| 会議名                        | 開催年月日         | 議事事項  | 会議の結果   |
|----------------------------|---------------|---|---|
| 第 567 回<br>幹事会             | 25 年 4 月 10 日 | 1. 軽金属 2-5 月号の発刊進捗状況<br>2. 校閲状況<br>3. 特集(アジアにおけるものづくり最前線)<br>4. 6 月号掲載内容<br>5. 次期、次々期連載講座<br><br>6. アルミ協会研究助成成果報告テーマ掲載<br>7. 編集委員会規程見直し<br>8. 次期委員会引継事項   | 1. 進捗状況を確認。<br>2. 5 件の掲載可を確認。<br>3. 8 月号にミニ特集掲載を決定。<br>4. 掲載内容を検討、決定。<br>5. 次期(電子顕微鏡関連)は夏連載開始決定。次々期案(資源エネルギー関連)を検討、決定。<br>6. 4 件の解説掲載を決定。<br>7. 幹事会追加案(理事会承認)を確認。<br>8. 投稿規程緩和、異分野研究成果掲載を追加して 8 項目引継を確認。  |
| 平成 25 年<br>度第 1 回編<br>集委員会 | 25 年 5 月 19 日 | 1. 規程改定<br>2. 次期委員会引継事項   | 1. 改定内容を報告・確認。<br>2. 引継事項を報告・確認。  |
| 第 568 回<br>幹事会             | 25 年 6 月 5 日  | 1. 軽金属 4-7 月号の進捗状況に関する件<br>2. 校閲報告に関する件<br>3. 依頼原稿に関する件<br>4. 軽金属 8 月号の掲載内容決定<br>5. 11 月特集号について<br>6. 次期連載講座について<br>7. 各分担の進捗状況報告<br>8. 次期委員会引継事項   | 1. 進捗状況を確認した。<br>2. 掲載可否を検討した。<br>3. 依頼内容を検討、承認した。<br>4. 掲載内容を検討、決定した。<br>5. 進捗状況を確認した。<br>6. 進捗状況を確認した。<br>7. 進捗状況を確認した。<br>8. 次期委員長、副委員長を交え、投稿論文数増加対策を議論した。   |
| 第 569 回<br>幹事会             | 25 年 7 月 10 日 | 1. 今期会長・編集委員長方針<br>2. 日本アルミニウム協会活動紹介<br>3. 軽金属 6-8 月号の進捗状況に関する件<br>4. 投稿・査読状況報告に関する件<br>5. 軽金属 9 月号の掲載内容決定<br>6. 今期の計画、課題について   | 1. 活動方針を確認した。<br>2. 石川参与の報告を聴取した。<br>3. 進捗状況を確認した。<br>4. 学会便り 2 件の掲載を決定した。<br>5. 掲載内容を検討、決定した。<br>6. 会誌増強のため、毎月委員会開催、役割分担を決定した。   |
| 第 570 回<br>幹事会             | 25 年 7 月 31 日 | 1. 日本マグネシウム協会活動紹介<br>2. 軽金属 7-9 月号の進捗状況に関する件<br>3. 校閲報告に関する件<br>4. 依頼原稿(学会便り)に関する件<br>5. 軽金属 10 月号の掲載内容決定<br>6. 査読業務について<br>7. 軽金属誌活性化について<br><br>1)論文投稿数増加について<br>2)著作権・規程 G 報告<br>3)会報 G 報告<br>4)連載講座 G 報告<br>5)特集号 G 報告<br>6)欧文誌 G 報告        | 1. 小原専務理事の報告を聴取した。<br>2. 進捗状況を確認した。<br>3. 掲載可否を検討した。<br>4. 依頼内容を検討、承認した。<br>5. 掲載内容を検討、決定した。<br>6. 査読システムを周知徹底した。<br>7. 会誌充実の方策を議論した。今後、下記を検討予定。<br>1)学生の投稿無料化<br>2)著作権規程、リポジトリ対応<br>3)掲載記事新カテゴリー充実<br>4)会員アンケート実施、新連載企画<br>5)X 線トモグラフィ特集、特任幹事<br>6)Mater. Trans. 特集      |
| 第 571 回<br>幹事会             | 25 年 9 月 2 日  | 1. 軽金属 8-10 月号の進捗状況に関する件<br>2. 校閲報告に関する件<br>3. 依頼原稿に関する件<br>4. 軽金属 11 月号の掲載内容決定<br>5. J-STAGE 説明会報告<br>6. Mater. Trans. 共同刊行編集委員会報告<br>7. 軽金属誌活性化について<br>1)論文投稿数増加について<br>2)著作権・規程 G 報告<br>3)会報 G 報告<br>4)連載講座 G 報告<br>5)特集号 G 報告<br>6)欧文誌 G 報告 | 1. 進捗状況を確認した。<br>2. 掲載可否を検討した。<br>3. 依頼内容を検討、承認した。<br>4. 掲載内容を検討、決定した。<br>5. 来春有料化時の継続利用決定。<br>6. 論文種別・Review 新設等確認。<br>7. 会誌充実の各 G 検討結果報告<br>1)担当設けず、理事会で要請。<br>2)特任編集委員制度規程検討。<br>3)「私の 1 枚」等、新ジャンル検討。<br>4)連載講座アンケート検討。<br>5)特任編集委員役割確認。<br>6) Mater. Trans. 特集号テーマ検討。 |
| 第 572 回<br>幹事会             | 25 年 10 月 1 日 | 1. 軽金属 9-11 月号の進捗状況に関する件<br>2. 校閲報告に関する件<br>3. 軽金属 12 月号の掲載内容決定   | 1. 進捗状況を確認した。<br>2. 掲載可否を検討した。<br>3. 掲載内容を検討、決定した。  |

|                |                |   |  |
|----------------|----------------|---|--|
|                |                | <p>4. 軽金属誌活性化について</p> <p>1)論文投稿数増加について</p> <p>2)著作権・規程 G 報告</p> <p>3)会報 G 報告</p> <p>4)連載講座 G 報告</p> <p>5)特集号 G 報告</p>   | <p>4. 各 G 検討結果報告</p> <p>1)大学院生投稿無料化検討。</p> <p>2)特任編集委員制度検討。</p> <p>3)「私の1枚」来春連載開始に向け募集。「維持会員紹介」見本検討。</p> <p>4)会誌全般のアンケート実施決定。</p> <p>5)特任編集委員細則等整備。</p>  |
| 第 573 回<br>幹事会 | 25 年 10 月 31 日 | <p>1. 軽金属 10・12 月号進捗状況に関する件</p> <p>2. 校閲報告に関する件</p> <p>3. 軽金属 1 月号の掲載内容決定</p> <p>4. 軽金属誌活性化について</p> <p>1)論文投稿数増加について</p> <p>2)著作権・規程 G 報告</p> <p>3)会報 G 報告</p> <p>4)連載講座 G 報告</p> <p>5)特集号 G 報告</p> <p>5. 編集委員会議題について</p>               | <p>1. 進捗状況を確認した。</p> <p>2. 掲載可否を検討した。</p> <p>3. 掲載内容を検討、決定した。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告</p> <p>1)大学院生投稿無料化、投稿資格緩和を総務委員会上申決定。</p> <p>2)特任編集委員制度決定。</p> <p>3)「私の1枚」来春連載開始に向け募集。「維持会員紹介」見本紹介。</p> <p>4)会誌全般のアンケート結果報告。</p> <p>5)特任編集委員細則案協議。</p> <p>5. 事務局案を承認。</p>                    |
| 編集委員会          | 25 年 11 月 10 日 | <p>1. 今期の方針について</p> <p>2. 査読方針について</p> <p>3. 特任編集委員制度について</p> <p>4. 次期特集号について</p> <p>5. 会誌アンケート結果について</p> <p>6. 新規記事について</p>  | <p>1. 会誌、幹事会改善方針を確認した。</p> <p>2. 査読迅速化の方策を確認した。</p> <p>3. 制度、役割を確認した。</p> <p>4. 関東支部特集(7月号)内容を確認。</p> <p>5. 集計結果を確認した。</p> <p>6. 新企画「私の一枚」提案を確認した。</p>   |
| 第 574 回<br>幹事会 | 25 年 12 月 24 日 | <p>1. 軽金属 11～2 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 校閲状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 2 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1)著作権・規程 G 報告</p> <p>2)会報 G 報告</p> <p>3)連載講座 G 報告</p> <p>4)他学会講演取材記事掲載について</p>  | <p>1. 進捗状況を確認した。</p> <p>2. 校閲状況を確認した。</p> <p>3. 掲載内容を確認した。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告</p> <p>1)細則案確定し総務委員会上申</p> <p>2)「私の1枚」募集会告掲載、掲載順番検討する。</p> <p>3)アンケート結果会誌掲載決定。</p> <p>4)3学会の関連講演リスト掲載検討。</p>   |
| 第 575 回<br>幹事会 | 26 年 1 月 29 日  | <p>1. 軽金属 12～3 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 校閲状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 3 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1)著作権・規程 G 報告</p> <p>2)会報 G 報告</p> <p>3)連載講座 G 報告</p> <p>4)他学会講演取材記事掲載について</p> <p>5)他誌内容の学会誌への採用について</p> <p>5. 編集委員 2 名増員について</p> | <p>1. 進捗状況を確認した。</p> <p>2. 校閲状況を確認した。</p> <p>3. 掲載内容を確認した。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告</p> <p>1)特任編集委員細則一部修正。</p> <p>2)「私の1枚」掲載順番決定。</p> <p>3)アンケート結果報告。次回掲載案作成。</p> <p>4)注目分野取材案を次回検討。</p> <p>5)日本語抄録、年間展望掲載検討。</p> <p>5. 2 名増員承認。</p>   |
| 第 576 回        | 26 年 3 月 10 日  | <p>1. 軽金属 1～4 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 校閲状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 5、6 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1)著作権・規程 G 報告</p> <p>2)会報 G 報告</p> <p>3)連載講座 G 報告</p> <p>4)特集号 G 報告</p> <p>5)その他</p>   | <p>1. 進捗状況を確認した。</p> <p>2. 校閲状況を確認した。</p> <p>3. 掲載内容を確認した。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告</p> <p>1)著作権規程次回審議。倫理規程総務案に二重投稿禁止追加要請。</p> <p>2)「私の1枚」募集会告案作成。東海支部講演 4 件解説執筆依頼。</p> <p>3)アンケート分析結果会誌掲載。</p> <p>4)11 月号「3D/4D イメージ応用」特集予備登録状況確認。平成 27 年春秋特集号内容検討。</p> <p>5)国内他学会取材、年間展望次回審議</p> |

## (5)国際交流委員会

| 会議名                     | 開催年月日          | 議事事項  | 会議の結果   |
|-------------------------|----------------|---|---|
| 平成 25・26<br>年度<br>第 1 回 | 25 年 7 月 23 日  | 1. 前期引継事項について<br>2. 今期活動計画について<br>1)ALMA 国際会議(2014)<br>2)ALMA HP 充実<br>3)国際交流活動について   | 1. 引継事項を確認した。<br>2. 担当を決め、活動内容を議論した。<br>1)東工大開催の準備開始。<br>2)HP 掲載事項議論。<br>3)ICAA、ACAA 対応、Mg・Ti 協会との関係構築、活動活発化を議論。                |
| 第 2 回                   | 25 年 10 月 3 日  | 1. ALMA Forum、Meeting 方針について<br>2. ALMA HP コンテンツ見直しについて<br>3. 他学協会との連携強化提案について<br>4. 会誌掲載記事について   | 1. 来年開催趣旨・内容確認。次回、講演プログラム、会場等会告案提示。<br>2. 見直し内容構成を確認。次回コンテンツ提示。事務局修正開始。<br>3. ALMA 活動に Al、Mg、Ti 協会招聘<br>4. ICAA へ執筆依頼、ACAA 報告作成 |
| 第 3 回                   | 25 年 12 月 18 日 | 1. ALMA Forum、Meeting について<br>1)Forum プログラム(講演者、タイトル)<br>2)役割分担について<br>2. ALMA HP コンテンツ見直しについて<br>3. ACAA 会議報告について<br>4. ALMA HP への関連学協会リンクについて | 1. 下記項目を決定<br>1)各国講演数、講演内容決定。<br>2)担当者案を承認。<br>2. 進捗状況を確認。<br>3. 会誌 1 月号に掲載決定。<br>4. 許可を得た後リンクを貼ることとした。                         |
| 第 4 回                   | 26 年 2 月 13 日  | 1. ALMA HP コンテンツ見直しについて<br>2. ALMA Forum、Meeting 開催案について<br>3. 委員会構成について  | 1. 趣旨説明、組織図追加など決定。<br>2. 開催要領、4 月末参加申込締切とする会告案を確認。会場、予算案を協議<br>3. 1 機関複数名の委員選出を制限しないことで合意。                                      |

## (6)大会運営委員会

| 会議名   | 開催年月日         | 議事事項  | 会議の結果  |
|-------|---------------|---|--|
| 第 1 回 | 25 年 7 月 25 日 | 1. 前期引継事項について<br>2. 今期活動計画について<br>3. 第 124 回春期大会の決算および反省点<br>4. 第 125 回秋期大会について<br>5. 第 126 回春期大会について<br>1) 開催計画概要<br>2) テーマセッション募集日程<br>6. 若手の会、女性会員の会の報告<br>7. 第 125 回大会プログラム編成について | 1. 引継事項確認し、企業セッション見直し、運営マニュアル作成を決定。<br>2. 年 4 回開催、2WG で課題検討決定<br>3. 決算および反省点について報告。<br>4. 第 125 回秋期大会準備状況を確認。<br>5. 第 126 回春期大会概要を確認。<br>1)大会開催計画を紹介<br>2)テーマセッション募集日程<br>6. 両会からの報告を確認。<br>7. プログラム、座長、ポスター審査員決定。           |
| 第 2 回 | 25 年 9 月 3 日  | 1. 企業 WG 報告・討議<br>1)企業セッションアンケート案<br>2)企業発表促進案<br>2. 大会改善 WG 報告・討議<br>1)大会運営マニュアル作成について<br>2)講演分野見直しについて<br>3)座長・ポスター審査員候補<br>3. 他学協会との連携強化について                                       | 1. 大会への企業参加勧誘策を討議。<br>1)第 125 回秋期大会アンケート実施予定。<br>来年秋季大会でセッション内容見直し<br>2)平成 27 年春期大会で本格実施。<br>2. 大会改善の内容・日程報告。<br>1)共通項目マニュアル化検討。<br>2)平成 25 年度内に分野見直し、利用・加工分野増加。平成 26 年秋期大会より運用開始。<br>3)30-50 歳の学側審査員候補リスト提出。<br>3. 委員長提案説明。 |
| 第 3 回 | 26 年 1 月 23 日 | 1. 第 125 回秋期大会の決算および反省点<br>2. 第 127 回秋期大会について<br>1)開催計画概要、実行委員会名簿<br>2)テーマセッション募集日程<br>3. 企業 WG 報告・討議<br>1)企業セッションアンケート案<br>2)企業発表促進案<br>4. 運営 WG 報告・討議<br>1)大会マニュアル<br>2)講演分野見直し     | 1. 決算および反省点について報告。<br>2. 大会概要、実行委員を承認<br>1)資料に基づき報告、確認。<br>2)資料に基づき報告、確認。<br>3. 企業 WG 案を承認<br>1)アンケート結果、改善案報告。<br>2)春期大会で企業交流会実施決定。秋期大会ではアルミ協会賞受賞企業発表を計画。<br>4. 運営 WG 案を承認<br>1)大会会場準備マニュアル報告。                               |

|       |               |   |  |
|-------|---------------|---|--|
|       |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>3)企業側座長、ポスター審査員候補</li> <li>4)大会参加費改定</li> <li>5)大会規程改定</li> <li>5. 若手の会、女性会員の会の報告</li> <li>6. 第 126 回大会プログラム編成について</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>2)分野見直し継続。次回報告。</li> <li>3)7 社案に基づきプログラム編成。</li> <li>4)値上げ案を承認。</li> <li>5)発表資格要件緩和を承認。</li> <li>5. 両会からの報告を確認。</li> <li>6. プログラム、座長、ポスター審査員を決定。</li> </ul>   |
| 第 4 回 | 26 年 3 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業 WG 報告・討議 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)企業交流会(技術・商品の紹介)</li> </ul> </li> <li>2)秋期大会イベント</li> <li>3)アンケート</li> <li>2. 運営 WG 報告・討議 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)大会マニュアル</li> <li>2)講演分野見直し</li> </ul> </li> <li>3)ポスター賞再受賞制限</li> <li>3. テーマセッション採択</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業 WG 案を承認 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)第 126 回大会開催内容決定。HP 会告、企業出展募集案作成。4 月初旬募集。</li> <li>2)アルミ協会賞受賞企業の講演を計画。協会へ表彰企業照会。</li> <li>3)アンケート案提示</li> </ul> </li> <li>2. 運営 WG 案を承認 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)初版作成。以後、各大会で追加。</li> <li>2)秋期大会で「アプリケーション」カテゴリを追加。サブタイトルを過去 2 回分調査し、申込時にカテゴリ、サブタイトル選択方式に改良。</li> <li>3)指導教官にオーラルへの変更要請</li> </ul> </li> <li>3. 秋期大会 5 件採択、追加 1 件審査。</li> </ul> |

(7)研究委員会

| 会議名   | 開催年月日          | 議事事項  | 会議の結果   |
|-------|----------------|---|---|
| 第 1 回 | 25 年 7 月 24 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 前期引継事項について</li> <li>2. 今期活動について <ul style="list-style-type: none"> <li>1)研究部会活動の成果発表</li> <li>2)ロードマップ作成(日本学会協議要請)</li> <li>3)Mg、Ti 協会との連携</li> </ul> </li> <li>3. 研究部会テーマ進捗</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 引継事項を確認した。</li> <li>2. 1)会誌への部会紹介を 11 月号から開始。HP 紹介も計画。</li> <li>2)WG で 8/1 に作成打合わせ開催</li> <li>3)両協会と話し合いを計画</li> <li>3. 水素部会報告。材料 WG 設置決定</li> </ul>  |
| 第 2 回 | 25 年 10 月 23 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 研究部会平成 25 年度事業中間報告について</li> <li>2. 水素部会・力学特性 WG 発足について</li> <li>3. 会誌への研究部会報告について</li> <li>4. HP への研究部会活動掲載について</li> <li>5. 他学協会との連携強化について</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. ミュオン部会紹介と各部会活動報告。講演大会、シンポジウムでの成果報告 5 件決定。</li> <li>2. WG 検討内容について承認。</li> <li>3. 執筆納期を確認・徹底した。</li> <li>4. 総務委員会で HP 作成を決定。</li> <li>5. 水素脆化関係の連携を提案。</li> </ul>                                |
| 第 3 回 | 26 年 1 月 8 日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 研究部会平成 25 年度事業中間報告について</li> <li>2. 水素部会・力学特性 WG</li> <li>3. 会誌への研究部会報告掲載について</li> <li>4. 研究テーマ抽出 WG について</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 加工と熱処理部会報告を確認した。</li> <li>2. WG メンバー、初回開催案報告。</li> <li>3. 11、12、1 月号掲載案件紹介。2、3 月号掲載案件執筆要請。納期 3 か月前。</li> <li>4. 7 プロセス(鑄造、圧延、押出、トライボロジー、接合、腐食、表面処理)について WG 立上げ決定。メンバー編成し、9 月テーマ提案予定。</li> </ul> |
| 第 4 回 | 26 年 3 月 20 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 研究部会平成 25 年度活動報告及び 26 年度事業計画について</li> <li>2. 研究事業収支・期末残高推移について</li> <li>3. 研究部会課題抽出 WG 活動について</li> <li>4. 学会 HP への部会紹介について</li> <li>5. 圧延トライボロジー部会報告書の紹介</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 資料に基づき報告、審議し了承した。</li> <li>2. 各部会の状況を報告。</li> <li>3. WG メンバー確定。Mg、Ti、新素材 WG 追加。</li> <li>4. 4 月初旬 HP 掲載公開承認。</li> <li>5. 部外秘版と一般公開版を発行。</li> </ul>  |

(8)支部長会

| 会議名              | 開催年月日         | 議事事項  | 会議の結果   |
|------------------|---------------|---|---|
| 平成 25 年<br>第 1 回 | 25 年 5 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 24 年度支部収支報告書、平成 25 年度支部収支予算書および第 1 四半期決算資料送付について</li> <li>2. 平成 25 年度支部費配分</li> <li>3. 今後の開催予定地</li> <li>4. 高橋記念賞</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 事務局より提示した資料確認。</li> <li>2. 事務局より 25 年度の見直し案提示。</li> <li>3. 平成 27 年第 128 回春期大会までの開催日程、予定地を確認。</li> <li>4. 選考委員案の確認依頼。</li> </ul> |

|     |           |  |  |
|-----|-----------|--|--|
|     |           | 5. 維持会員増強<br>6. 年間表彰スケジュール<br>7. 会誌支部特集  | 5. 企画委員会イベント検討状況報告。<br>6. 事務局提示資料を確認。<br>7. 掲載順番、内容を確認。  |
| 第2回 | 25年11月10日 | 1. 平成25年度支部第2四半期決算<br>2. 平成26年度支部費配賦の早期化<br>3. 維持会員増強<br><br>4. 今後の開催予定地<br><br>5. 軽金属希望の星賞<br>6. 年間表彰スケジュール | 1. 事務局より提示した決算資料確認。<br>2. 4月配賦のスケジュール確認。<br>3. 中堅規模企業研究開発支援プロジェクトに関する支部意見吸上げ。<br>4. 平成27年第129回秋期大会までの開催日程、予定地確認。<br>5. 支部応募枠、応募日程確認。<br>6. 事務局提示資料を確認。 |

(9) 参与会

| 会議名  | 開催年月日    | 議事事項                                | 会議の結果  |
|------|----------|-------------------------------------|--|
| 第15回 | 25年7月9日  | 1. 見学会の実施<br>2. 講演会の実施<br>3. 委員会の開催 | 1. 日本自動車研究所(JARI)城里テストセンター見学。<br>2. 水素エネルギーの社会活用とアルミニウムの役割について、「Hy-SEF(水素・燃料電池自動車の安全評価試験設備)での水素、FCV容器の安全性評価に関する取組」他、1件の講演会を実施。 |
| 第16回 | 25年12月6日 | 1. 見学会の実施<br>2. 講演会の実施<br>3. 委員会の開催 | 1. パナソニックエコテクノロジー関東(株)家電リサイクル見学。<br>2. 家電リサイクル、使用済み家電製品からのネオジム磁石のリサイクルの講演会を実施。   |

[4] 許可、認可、承認、証明に関する事項

| 連絡年月日 | 議事事項 | 履行状況 |
|-------|------|------|
| なし    | なし   | なし   |

[5] 契約に関する事項

| 契約締結年月日     | 契約内容   | 契約先・研究委託者                              |
|-------------|--|--|
| 平成25年7月10日  | 共同研究契約書: アルミニウム中の水素分析における前処理の影響調査(アルミニウム中の水素研究部会)  | 国立大学法人茨城大学<br>工学部<br>伊藤吾朗 教授           |
| 平成25年11月20日 | 受託研究契約書: 非水溶媒から電析したアルミニウムめっき膜の性質調査(新機能発現・化学プロセス部会) | 国立大学法人京都大学<br>大学院エネルギー科学研究科<br>平藤哲司 教授 |

[6] 寄付金に関する事項 寄付金支出はなし

[7] 主務官庁からの連絡および報告事項

| 連絡年月日       | 議事事項                    | 履行状況            |
|-------------|-------------------------|-----------------|
| 平成25年6月26日  | 平成24年度公益目的支出計画実施報告書等の提出 | 内閣府に関係書類を電子提出   |
| 平成25年10月10日 | 修正可能書類通知受領              | 内閣府修正要請事項を修正    |
| 平成25年10月24日 | 修正提出書の提出                | 修正書類を電子提出       |
| 平成25年12月27日 | 公益目的支出計画変更認可申請          | 1年期間延長を電子提出     |
| 平成26年1月30日  | 計画変更認可申請の修正可能書類受領       | 内閣府修正要請事項を修正    |
| 平成26年2月13日  | 修正提出書の提出                | 修正書類を電子提出       |
| 平成26年2月19日  | 申請書類の資料確認依頼             | 電子確認            |
| 平成26年3月19日  | 変更認可書受領                 | 完了予定日を1年延長し計画実施 |

[8] その他重要事項 特になし



**[9]会員動向**

( ) 内は内数

|                 | 名誉会員 | 永年会員 | 個人会員  |      |      |       | 合計    |
|-----------------|------|------|-------|------|------|-------|-------|
|                 |      |      | 正会員   | 学生会員 | 外国人  | 合計    |       |
| 平成 26 年 4 月 1 日 | 53   | 84   | 1,625 | 241  | (11) | 1,866 | 2,003 |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 49   | 86   | 1,619 | 266  | (10) | 1,885 | 2,020 |
| 差引増減            | 4    | △2   | 6     | △25  | (1)  | △19   | △17   |

**正会員の内訳**

|                 | 大学・高専等 | 公的研究機関 | 企業等   | その他 | 合計    |
|-----------------|--------|--------|-------|-----|-------|
| 平成 26 年 4 月 1 日 | 453    | 98     | 1,028 | 46  | 1,625 |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 461    | 99     | 1,016 | 43  | 1,619 |
| 差引増減            | △8     | △1     | 12    | 3   | 6     |

**特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳**

|                 | 特別維持会員 | 維持会員 | 口数 |   |   |   |   |   |    |     |     | 年間購読 |
|-----------------|--------|------|----|---|---|---|---|---|----|-----|-----|------|
|                 |        |      | 10 | 8 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2  | 1   | 合計  |      |
| 平成 26 年 4 月 1 日 | 5      | 123  | 2  | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 16 | 101 | 166 | 65   |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 6      | 126  | 2  | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 16 | 104 | 169 | 72   |
| 差引増減            | △1     | △3   | -  | - | - | - | - | - | -  | △3  | △3  | △7   |

**[10]事業報告の附属明細書**

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。